

◆ ワイプ撮影

被写体と撮影者を同時に撮影できます。また、ワイプ画像は位置、大きさ、形を変更できます。

1 ホーム画面で[カメラ]

2 [モード]→[ワイプ撮影]

- をタップすると、ワイプフレームの形状を選択できます。
- ワイプ画像をドラッグすると位置の移動、ピンチアウト/ピンチインすると大きさを変更できます。

3 (開始)

撮影開始音が鳴り、撮影が始まります。

4 (停止)

撮影停止音が鳴り、撮影が停止します。

◆ Live Auto Zoom撮影

撮影画面で狙った被写体をタップするかまたは丸で囲むと、自動で被写体をズームして画面中央に配置した追従状態の動画が撮影できます。

- Live Auto Zoomでの撮影サイズは、「Full HD」(1920×1080) となり変更できません。
- 被写体と同系色の背景上で撮影している場合、背景の一部が選択された状態となったり、追従が外れてしまうことがあります。
- 同様の形状の被写体と重なった場合、追従が外れてしまうことがあります。

- 背景の一部が選択されたり、追従が外れたりした場合、撮影画面で被写体をタップするか、または丸で囲み、再選択してください。

1 ホーム画面で[カメラ]

2 [モード]→[Live Auto Zoom]

3 ズームする被写体をタップ(または丸で囲む)

被写体に丸い白色のフォーカス枠が表示され、被写体をズームします。

- 白色のフォーカス枠内をタップすると、フォーカス枠がグレーに変わりズームを一時的に解除します。もう一度タップするとズームします。フォーカス枠外の別の被写体をタップする(または丸で囲む)と、フォーカスの対象が変わります。
- をタップすると、背景ぼかしレベルを調節できます。
- 撮影画面をダブルタップすると、フォーカスを解除します。
- 被写体選択後は、画面をピンチアウト/ピンチインして拡大/縮小ができます。

4 (開始)

撮影開始音が鳴り、撮影が始まります。

- 被写体が撮影画面の中央から多少ずれた場合、白いフォーカス枠がズームした状態で被写体を撮影画面の中央にとらえ直します。
- ズームしている被写体が撮影画面から外れた場合、フォーカス枠が赤色に変わりズームは解除されません。再び被写体を撮影画面にとらえると、被写体を追従します。
- 音量キーの下を押しても、撮影を開始できます。

- 選択した被写体の明るさが変化する場合、被写体の明るさに追従して画面の明るさが変化することがあります。

5 ●(停止)

- 撮影停止音が鳴り、撮影が停止して保存されます。
- 音量キーの下を押しても、撮影を停止できます。

◆ AIスローモーション撮影

自動で人の動作を認識し、スローモーション効果を適用した動画を撮影できます。

- 明るい場所で被写体を画面中央にして撮影してください。
- 動画の撮影サイズは、「HD」(1280×720)となり変更できません。
- 撮影可能な時間は60秒間です。
- 撮影したデータのmicroSDカードへの保存はできません。
- 撮影されたデータは、映像のみとなり、音声は録音されません。
- 撮影開始直後は自動で人の動作が認識されない場合があります。動作が認識されなかった場合は、撮影停止後の編集画面にてスロー再生したい範囲を手動で選択してください。

1 ホーム画面で[カメラ]

2 [モード]→[AIスロモ]

3 ●(開始)

撮影開始音が鳴り、撮影が始まります。

4 ●(停止)

撮影停止音が鳴り、撮影が停止します。

- 最大録画時間(60秒間)まで撮影した場合は、自動で撮影が停止され、通知画面表示後、編集画面になります。

5 スロー再生する範囲を選択→[保存]

動画が保存されます。

◆ カメラの撮影設定

撮影画面で[モード]をタップすると、撮影モードの切り替えができます。また、●をタップするとカメラの設定画面が表示され、静止画・動画の各種撮影設定を変更できます。撮影モードによって、変更できる撮影設定は異なります。

◆ 撮影モードの切り替え

カメラを起動すると、静止画・動画撮影画面が表示されます。[モード]をタップして静止画・動画以外の撮影モードに切り替えることができます。

■ 写真・ビデオ

タップするシャッターアイコンにより、静止画と動画が同じ画面から撮影できます。

■ Photoshop Express モード

Photoshop Expressを起動し、撮影した静止画を自動で補正します。

- 補正前と補正後の静止画が保存されます。
- Adobe IDでのログインが必要です。

■ ポートレート

人の顔の背景にぼかしを付けて撮影します。ぼかしの度合いは調整できます。→P100

■ ワイプ撮影

被写体と撮影者を同時に撮影できます。また、ワイプ画像は位置、大きさ、形を変更できます。→P102

■ Live Auto Zoom

狙った被写体をズームして画面中央に配置して撮影しします。動きに合わせてカメラを動かさずと追従状態の動画を撮影できます。→P102

■ AIスロモ

自動で人の動作を認識し、スローモーション効果を適用した動画を撮影できます。→P103

■ マニュアル

シャッタースピードや、ホワイトバランスなど各種設定を手動で変更した撮影ができます。→P101

■ ARサイズチェッカー

カメラを使ってさまざまな物のサイズ感を体感できます。→P106

❖ 共通設定

■ 保存先

microSDカードを装着している場合に、タップしてON (●) にすると、撮影したデータの保存先をmicroSDカードに設定できます。

■ 位置情報

撮影した画像に位置情報を付加するように設定します。タップしてON (●) にすると、位置情報を取得中(未取得)は📍、取得すると📍のアイコンが撮影画面に表示されます。

■ 露出/WB調整

タップしてON (●) にすると、撮影画面に露出補正とホワイトバランス調整のアイコン (🔍) が表示されます。タップしてそれぞれの設定値を変更できます。

- AIシーン認識を設定している場合は、露出/WB調整は利用できません。

■ グリッド表示

撮影画面で構図を決める補助線(グリッド)を表示します。

■ QRコード読み取り

撮影画面にQRコードを表示させると、自動的にQRコードを読み取るように設定します。

- お買い上げ時は、ON (●) に設定されています。

❖ 静止画設定

■ 撮影サイズ

撮影サイズを選択します。

- アウトカメラ
 - 4:3 / 16:9 / 1:1 / Full
撮影する静止画の縦横比を設定します。画像サイズは設定によって異なります。
 - 4:3 (48MP)
広角カメラ(48M)での撮影を行います。HDR、手ぶれ補正、連写、ズーム、美肌補正機能は使用できません。
- インカメラ
 - 4:3 / 16:9 / 1:1 / Full
撮影する静止画の縦横比を設定します。画像サイズは設定によって異なります。

■ セルフタイマー

設定をON (●) にすると、撮影画面に●が表示されます。タップして、2秒後／3秒後／5秒後に撮影されるように設定できます。アウトカメラ／インカメラそれぞれ個別にセルフタイマーを設定できます。

- インカメラではあらかじめON (●) に設定されています。

■ HDR撮影

露光時間の違う3枚の画像を連写・合成して、白飛びや黒つぶれを補正した静止画を撮れるように設定します。

- [HDR撮影] をONに設定すると、フラッシュ、露出／WB調整、連写、手ぶれ補正、AIシーン認識、AIオートショットは使用できません。

■ AIシーン認識／オートHDR

シーンを自動で検出して撮影できます。自動検出したシーンは、「人物」「犬猫」「料理」「花」「夕景」「夜景」「逆光」「テキスト」などのシーン名称が表示されます。シーン認識を解除する場合は、シーン名称の横の「⊗」をタップします。

- 「夜景」を検出した場合は、「花火」「イルミ」を選択して撮影することもできます。
- フラッシュを●(オート) に設定して、「夜景」／「花火」／「イルミ」を選択すると、フラッシュは点灯しません。フラッシュアイコンをタップして●(点灯) にすると、フラッシュ撮影ができます。
- 逆光を検出した場合はAIシーン認識はOFFになり、自動で「HDR撮影」になります。
- [AIシーン認識] をONに設定すると、露出／WB調整は使用できません。

■ AIシーン認識説明文表示

ON (●) に設定すると、シーンを認識したときに説明文を表示します。

■ AIオートショット (写真)

静止画撮影時にシャッターをタップしたタイミング前後の画像からAIが人物の表情などを分析し、おすすめの写真を自動で保存します。おすすめの写真を自動保存した際は、撮影画面にアイコンで通知します。アイコンをタップすることで、保存された写真を確認できます。

■ AIオートショット (モーショ)

静止画撮影時にシャッターをタップしたタイミング前後の画像からAIが人物の表情などを分析し、おすすめのモーショ (短い動画) を自動で保存します。おすすめのモーショを自動保存した際は、撮影画面にアイコンで通知します。アイコンをタップすることで、保存された動画を確認できます。

■ 手ぶれ補正

静止画撮影時の手ぶれを軽減します。

- [手ぶれ補正] をONに設定すると、長押し連写は使用できません。

■ 長押し連写

シャッターボタンをロングタッチ (長押し) して連写撮影ができます。

- 最大100枚までの連写撮影ができます。
- [長押し連写] をONに設定すると、手ぶれ補正、美肌補正は使用できません。
- 長押し連写は、インカメラでの撮影やHDR撮影、フラッシュやセルフタイマーの設定には対応していません。

■ 美肌補正

人物の肌の色を調整して撮影します。

- [美肌補正] をONに設定すると、長押し連写は使用できません。

■ インカメラタッチシャッター

撮影画面をタップして撮影できるように設定します。

❖ 動画設定

■ 撮影サイズ

撮影サイズを選択します。

■ 手ぶれ補正

動画撮影時の手ぶれを軽減します。

■ コーデック

撮影する動画の圧縮方式をH.264、H.265 (HEVC) から選択します。

❖ その他

■ 設定のリセット

カメラ設定を初期状態にリセットします。

◆ QRコード読み取り

カメラの撮影画面でQRコードのデータを読み取ります。お買い上げ時はカメラの「QRコード読み取り」機能がONに設定されています。撮影画面にQRコードを表示させるだけで、そのまま読み取って結果が表示されます。

- 被写体 (QRコード) からカメラを約10cm以上離して読み取ってください。
- QRコードのバージョン (種類やサイズ) によっては読み取れない場合があります。

- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射などにより読み取れない場合があります。
- QRコードが読み取りにくい場合は、QRコードとカメラの距離、角度、方向などの調節により、読み取れることがあります。

1 ホーム画面で[カメラ]

2 撮影画面にQRコードを表示→スキャン

読み取りが完了すると、撮影画面の上部にポップアップが表示され、[詳細] をタップすると、読み取り結果画面が表示されます。

- [コピー] をタップして表示されたURLなどのテキストをコピーできます。
- 読み取り結果が電話帳の場合は、[電話帳に登録] をタップして登録できます。
- 読み取り結果がWi-Fiのアクセス情報の場合は、[Wi-Fiに接続] をタップして接続操作ができます。

◆ ARサイズチェッカー

カメラを使って目の前に指定した大きさの箱をAR表示して、近づいたり、裏に回ったりしながら、さまざまな物のサイズ感を体感できます。<仕様確認中>

1 ホーム画面で[カメラ]

2 [モード]→[ARサイズチェッカー]

フォト

カメラで撮影した静止画や動画、本端末にダウンロードした静止画や動画を表示／再生します。

- 本端末で再生可能な動画のファイル形式については、「主な仕様」をご覧ください。→P183

◆ 静止画表示／動画再生

1 ホーム画面で[フォト]

画像一覧画面が表示されます。

2 画像を選択

- 前後の画像に切り替えるには、画面を左右にフリックします。
- ピンチアウト／ピンチインで拡大／縮小します。
- 動画はタップして再生します。音量キーを押して音量を調節したり、表示されるアイコンで再生、一時停止、スライダーで早戻し、早送りなどの操作をします。

アプリ

dメニュー

dメニューでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリに簡単にアクセスすることができます。

1 ホーム画面で[dメニュー]

「Chrome」アプリが起動し、「dメニュー」が表示されます。

✓お知らせ

- dメニューをご利用になる場合は、ネットワークに接続されていることをご確認ください。→P56
- dメニューへの接続およびdメニューで紹介しているアプリのダウンロードには、別途/パケット通信料がかかります。なお、ダウンロードしたアプリによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。
- dメニューで紹介しているアプリには、一部有料のアプリが含まれます。

dマーケット

音楽、動画、書籍などのデジタルコンテンツの販売や、ショッピングサイトや旅行予約サイトなどさまざまなサービスを提供しています。

1 ホーム画面で[dマーケット]

dマーケットのトップ画面が表示されます。

- dマーケットの詳細については、以下のホームページをご覧ください。

<https://d.dmkt-sp.jp/common/about/index.html>

Play ストア

Play ストアを利用して Google Play のサイトへ接続すると、便利なアプリや楽しいゲームを検索して、本端末にダウンロード、インストールできます。また、映画コンテンツをレンタル視聴することができます。

- Google Play を利用するには、本端末に Google アカウントを設定する必要があります。Google アカウントが未設定の場合は、Play ストアの初回起動時に画面の指示に従って設定してください。
- Google Play の詳細については、Google Play 画面で ≡ → [ヘルプとフィードバック] をタップしてヘルプをご覧ください。
- アプリのバージョンによって項目や表示が異なる場合があります。

◆ アプリのインストール

1 ホーム画面で[Play ストア]

Google Play 画面が表示されます。

2 アプリを検索→アプリを選択

3 [インストール](無料アプリの場合)／[金額](有料アプリの場合)

- アプリによって表示される内容は異なります。
- アプリが本端末のデータや機能にアクセスする必要がある場合、そのアプリがどの機能を利用するかを示す画面が表示されます。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリにはご注意ください。この画面で「同意する」をタップすると、本端末でのこのアプリの使用に関する責任を負うこととなります。
- 有料アプリの購入、返品、払い戻し請求などについて詳しくは、Google Play 画面で☰→[ヘルプとフィードバック]をタップしてヘルプをご覧ください。
- 有料アプリをアンインストールする場合は、払い戻し画面が表示されることがあります。詳しくは、Google Play 画面で☰→[ヘルプとフィードバック]をタップしてヘルプをご覧ください。

4 ダウンロードの進捗状況を確認

ホーム画面またはアプリ一覧画面にインストールしたアプリのアイコンが表示されます。

✓お知らせ

- アプリのインストールに同意すると、アプリの使用に関する責任を負うこととなります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリには特にご注意ください。
- アプリのインストールは、安全であることをご確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。
- お客様がインストールした Google LLC が提供するアプリを含む第三者提供アプリなどにより、各種動作不良や自己または第三者などへ不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- お客様が Play ストアからインストールした Google LLC が提供するアプリを含む第三者提供アプリにつきましては、各提供元にお問い合わせください。
- アプリによってはインターネットに接続し、自動で通信を行うものがあります。パケット通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。
- インストールしたユーザー補助アプリは、[ユーザー補助]から有効にすることができます。→P146

◆ Google Play のアプリの削除

1 Google Play 画面で☰→[マイアプリ&ゲーム]→[インストール済み]

2 アプリを選択

3 [アンインストール]→[OK]

- 有料アプリで「払い戻し」が表示されない場合、試用期間が終了しています。

おサイフケータイ

お店などの読み取り機に本端末をかざすだけで、お支払いやポイントカードなどとして使える「おサイフケータイ対応サービス」がご利用いただける機能です。

電子マネーやポイントなどを本端末のICカード内に保存し、画面上で残高やポイントの確認などができます。また、おサイフケータイの機能をロックすることにより、盗難、紛失時に無断で使用されることを防ぐこともできます。

おサイフケータイの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、サイトまたはアプリでの設定が必要です。

◆ おサイフケータイ対応端末のご利用にあたって

- 本端末の故障により、ICカード内データ※が消失・変化してしまう場合があります（修理時など、本端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては、必ずバックアップサービスのあるおサイフケータイ対応サービスをご利用ください。

※ おサイフケータイ対応端末に搭載されたICカードに保存されたデータ

- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- 本端末の盗難、紛失時は利用停止などの対応方法について、速やかに当社およびご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者へお問い合わせください。

◆ 「おサイフケータイ対応サービス」の利用

おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、「おサイフケータイ」アプリよりサービスを設定してください。

1 ホーム画面で☰→[おサイフケータイ]

- 初期設定が完了していない場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って設定を行ってください。

2 サービスを選択

3 サービスに関する設定を行う

- サービスのアプリまたはサイトから必要な設定を行います。

4 ㊦マークを読み取り機にかざす

✓お知らせ

- おサイフケータイ対応のアプリを起動せずに、読み取り機にかざして利用することができます。
- 本端末の電源を切っても利用できますが、電源を長時間入れなかったり、電池残量が少ない場合や電源を入れてから一定時間は、利用できなくなることがあります。

- 本端末のバッテリーセーバーやデータセーバーの設定にかかわらず、おサイフケータイ対応のアプリはおサイフケータイ対応サービスの提供に必要な通信をバックグラウンドで行うため、パケット通信料がかかる場合があります。→P128、P134
- 本端末の電源を入れた後、再起動後およびソフトウェアアップデート後は、画面ロックを解除してから読み取り機にかざしておサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
- spモードをご契約されていない場合は、おサイフケータイ対応サービスの一部機能がご利用できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

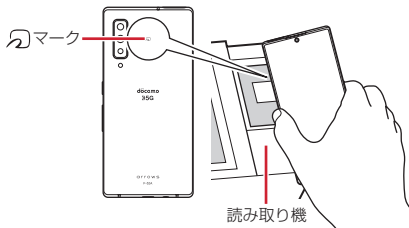
◆ タップ&ペイ

おサイフケータイ対応サービスなど、読み取り機にかざして利用できるサービスの有効・無効の設定ができます。

- 1 ホーム画面で **+** → **[設定]** → **[アプリと通知]** → **[詳細設定]**
- 2 **[特別なアプリアクセス]** → **[タップ&ペイ]**
タップ&ペイで使用するアプリ画面が表示されます。

◆ 対向機にかざす際の注意事項

読み取り機やNFCモジュールが内蔵された機器など、対向機にかざすときは、次のことにご注意ください。



- マークを対向機にかざす際には、強くぶつけたりせず、ゆっくりと近づけてください。
- マークを対向機の中心へ平行になるようにかざしてください。中心にかざしても読み取れない場合は、本端末を少し浮かしたり、前後左右にずらしたりしてかざしてください。
- マークと対向機の間金属物があると読み取れないことがあります。また、ケースやカバーに入れたことにより、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますので読み取れない場合はケースやカバーから取り外してください。

◆ おサイフケータイの機能をロック

画面消灯および画面ロック中に、おサイフケータイの機能を利用できないようにします。

- おサイフケータイのロックは、本端末の画面ロック、SIMカードロックとは異なります。

1 ホーム画面で **+** → **[設定]** → **[接続済みのデバイス]** → **[接続の設定]**

2 **[NFC／おサイフケータイ ロック ON／OFF]** をタップして ON／OFF を設定

◆ iDアプリ

「iD」とは、ドコモが提供する電子マネーです。「iD」を設定したおサイフケータイをお店の読み取り機にかざして簡単・便利にショッピングができます。カード情報は複数枚を登録できるので、特典などに応じて使い分けることもできます。

- おサイフケータイでiDをご利用の場合、iDアプリで設定を行う必要があります。
- iDサービスのご利用にかかる費用（年会費など）は、カード発行会社により異なります。
- 海外でiDアプリの設定・確認を行う場合は国内でのパケット通信料と異なります。
- iDに関する情報については、iDのホームページ（<https://id-credit.com/>）をご覧ください。

radiko+FM

FM放送で聴く場合は、アンテナとしてイヤホンケーブル（別売）※を本端末に接続しておく必要があります。

※ケーブルの長さが0.6m～1.5m程度のものを使用してください。安定したFMラジオ受信のためには1m以上のケーブルを推奨します。

1 ホーム画面で **+** → **[radiko+FM]**

- radiko+FMの使いかたなどについて詳しくは、メニューから「ラジコの楽しみ方」やヘルプなどをご覧ください。

ララしあコネクト

歩数・歩速、心拍数、睡眠時間、血圧（ユーザーが入力）などのデータを元に、健康管理をサポートします。

1 ホーム画面で **+** → **[ララしあコネクト]**

初期設定画面（生年月日、身長、体重などの入力画面）が表示されます。

2 **各データを入力** → **[始める]**

ララしあコネクトのメイン画面が表示されます。

- 年齢・性別・身長・体重などのデータは正確な数値を入力してください。入力したデータを元にした測定が行われます。

◆ ララしあコネクトでの測定

ララしあコネクトのメイン画面では、本端末を使用して各種測定やデータ入力が行えます。



メイン画面

- ① **メニュー**
 - 各種設定やヘルプなどの情報を表示します。
- ② **測定メニュー**
 - メイン画面の測定／入力メニューを表示します。
- ③ **歩数・歩速の測定**
 - 歩数、歩速、消費カロリー、脂肪燃焼量、活動量などを測定・表示します。
- ④ **心拍数の測定**
 - インカメラを利用して顔を認識し、心拍数を測定・表示します。
- ⑤ **血圧の記録**
 - ご利用されている血圧計で測定した最高／最低血圧と脈拍数を入力し記録します。

- ⑥ **ランキング***
 - 測定／入力値を元に、同年代の利用者内でのランキングを表示します。
 - ⑦ **データ引き継ぎ***
 - ララしあコネクトのデータをクラウドに同期します。
 - ⑧ **プロフィール**
 - 生年月日や身長、体重など基礎データを編集・表示します。
 - ⑨ **メッセージ**
 - 本端末で測定／入力されたバイタル情報を元に、簡易なメッセージや健康管理のヒントを表示します。
 - ⑩ **睡眠の測定**
 - 睡眠時、端末を枕元に置いて睡眠時間や眠りの深さを測定・表示します。
 - ⑪ **連携項目***
 - Google Fit™ と連携して栄養情報、身長、体重の情報を取得します。
- ※ ご使用の際はララしあコネクトにログインする必要があります。

- ✓ **お知らせ** -----
- 心拍数の測定にあたっては、なるべく明るい室内で測定するなどの測定環境や、前髪がかからないようにするなどの開始前の注意事項をご確認ください。
 - 周囲の環境や測定状態によっては測定できない場合があります。
 - 医療行為には使用できません。
 - その他の機能や操作などについては、☰をタップして「ヘルプ・よくあるお問い合わせ」などをご覧ください。

FASTシェア

撮影した静止画／動画を特別なアプリのインストール不要で、簡単にすばやく共有することができます。

- あらかじめテザリング機能をOFFにしてください。

1 ホーム画面で → [FASTシェア]

2 [開始] → [1 端末同士を接続]

QRコードによる接続：[QRコード] → QRコードを接続する端末から読み取る → 相手の端末で接続操作を行う

NFCによる接続：[NFC／おサイフケータイ] をONにした端末を重ね合わせる → 相手の端末で [接続]

3 [2共有アルバムを表示]

QRコードによる接続：[QRコード] → QRコードを相手の端末から読み取る → 読み取った相手のブラウザが起動する


- 必要に応じて、読み取った相手の端末でブラウザの起動操作を行ってください。

NFCによる接続：[NFC／おサイフケータイ] をONにした端末を重ね合わせる → 読み取った相手のブラウザが起動する

4 [3共有アルバムに戻る]

5 [写真を追加] → 共有したい静止画／動画をタップ

静止画／動画が共有アルバムと接続した端末のブラウザ画面に表示され、共有できます。

追加： → 共有したい静止画／動画をタップ

保存：接続した端末のブラウザ画面で [写真を選ぶ] → 保存したい静止画／動画にチェックを付ける → [ダウンロード]

設定： → 各項目を設定

接続端末の追加：[接続中] → [追加する] → 手順2～4を行う

接続の切断：[接続中] → [切断する] → [終了]

✓お知らせ

- 最大で10台までの端末を接続可能です。
- 接続する端末で使用するブラウザは Android OS では Chrome、iOSではSafariを推奨します。
- 手順3の [2共有アルバムを表示] にて、相手のブラウザで表示がされないときは、[2共有アルバムを表示] → [相手のブラウザが表示されないときは] をタップし、設定を確認してください。
- [NFC／おサイフケータイ] がOFFの場合はNFCを利用した接続はできないため、ONにして再度操作してください。

位置情報・GPS

本端末のGPS機能と対応するアプリを使用して、現在地の確認や目的地までの経路検索などを行うことができます。

- 本端末には、衛星信号を使用して現在地を算出するGPS受信機が搭載されています。GPS機能を利用する際にパケット通信料が発生する場合があります。

◆ GPSのご利用にあたって

- GPSシステムの不具合などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末の故障、誤動作、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されており、米国の国防上の都合により、GPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化、電波の停止など）されることがあります。

- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害するおそれがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。

■ 受信しにくい場所

GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。また、GPSアンテナ（→P33）の付近を手で覆わないようにしてお使いください。

- 建物の中や直下
- 地下やトンネル、地中、水中
- かばんや箱の中
- ビル街や住宅密集地
- 密集した樹木の中や下
- 高圧線の近く
- 自動車、電車などの室内
- 大雨、雪などの悪天候
- 本端末の周囲に障害物（人や物）がある場合

◆ 電子コンパス利用時の留意事項

本端末は、電子コンパスを内蔵しており、地球の微弱な磁場を感知して方位を算出することができます。

- 電子コンパスは地球の微弱な磁場を感知して方位を算出しています。そのため、建物（地下街を含む）や乗り物、金属製の施設（エレベータなど）、金属製の設備（ガードレール、歩道橋など）、高圧線、架線、磁気を含む岩盤、金属（鉄製の机、ロッカーなど）、永久磁石（磁気ネックレス、バッグの留め金など）、家庭電化製品（テレビ、パソコン、スピーカーなど）の中または近くでは磁場を感知できなかったり、正確に方位を表示できなかったりする場合があります。
- 「マップ」アプリなどで、正しく方位を測定できない場合は、電子コンパスを調整してください。

◆ 電子コンパスを調整する


■ 操作方法

「マップ」アプリなど電子コンパスを利用するアプリを使用中に、本端末を大きく「8」の字を描くように手首を返しながら約10秒動かします。

◆ 位置情報の設定

位置情報の使用をアプリに許可します。

- アプリのバージョンによって項目や表示が異なる場合があります。

1 ホーム画面で  → [設定] → [位置情報]

2 画面右上のボタンをタップして[位置情報の使用]をONにする

ユーザーの同意画面が表示されます。

3 [同意する]

4 [詳細設定] → [Google 位置情報の精度]

5 画面右上のボタンをタップして[位置情報の精度を改善]をONにする

✓お知らせ


- 精度の高い位置情報を測位するには、天空が見える場所で使用してください。
- 本機能を使用すると電池の消費が多くなりますのでご注意ください。

◆ Google マップ

Google マップで現在地の測位や場所の検索、経路の検索などを行います。

- Google マップを利用するには、5G/LTE/3G/GPRSネットワークでの接続またはWi-Fi接続が必要です。
- 現在地を測位するには、あらかじめ[位置情報の使用]をONにしてください。→P116
- Google マップは、すべての国や都市を対象としているわけではありません。

1 ホーム画面で[Google] → [マップ]

- Google マップの操作については、をタップして、ヘルプや便利な使い方などをご覧ください。
- 現在地の測位で位置情報の設定や精度の設定を変更する旨の確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

スケジュール

スケジュールを管理できます。


1 ホーム画面で→[スケジュール]

カレンダー画面が表示されます。

- クラウドサービスの利用画面が表示された場合は、
[クラウドサービスを設定する] または [後で設定する] をタップします。

◆ スケジュールの登録


1 カレンダー画面で

- [入力オプションを表示] をタップすると、アラームなどを設定できます。

2 各項目を設定→[保存]

スケジュールが登録されます。

❖ 通知の日時になると

スケジュールの登録時にアラームの設定をすると、設定した日時にステータスバーにが表示されてお知らせします。

1 通知パネルを開く→通知をタップ

詳細画面が表示されます。


◆ スケジュールの表示

登録したスケジュールの詳細を表示します。



1 カレンダー画面で日付をタップ→ご自身で登録したスケジュールをタップ

2 スケジュールを確認

スケジュールの編集: [編集] →スケジュールを編集
→ [保存]


スケジュールの削除:  → [1件削除] → [削除する]

✓お知らせ-----

- カレンダー画面でをタップすると、設定などのさまざまな操作ができます。
- カレンダー画面でをタップすると、日付移動などのさまざまな操作ができます。

時計

アラーム、時計（世界時計）、タイマー、ストップウォッチが利用できます。

- アラーム画面／時計（世界時計）画面／タイマー画面／ストップウォッチ画面で  → [設定] をタップすると、時計の設定ができます。


◆ 時計（世界時計）を表示

1 ホーム画面で → [時計]

時計画面が表示されます。

- 時計（世界時計）が表示されなかった場合は、時計画面で [時計] をタップします。

✓お知らせ

- 時計（世界時計）画面に世界各地の時刻を表示する場合は、 → 都市名を入力 → 都市を選択します。

◆ アラームの利用



1 ホーム画面で → [時計]

2 [アラーム]


アラーム画面が表示されます。

3 → 時刻を設定 → [OK]

4 各項目を設定


 / ：作成した時刻のアラームのON/OFFを設定します。


繰り返し：繰り返しを設定します。

：アラーム音を設定します。



バイブレーション：バイブレーションのON/OFFを設定します。

ラベル：ラベルを入力します。

：アラームが鳴動するまでの時間が2時間以内の場合に表示され、アラームを解除します。

：作成中のアラームを削除します。

✓お知らせ

- アラームの一覧でアラームを削除する場合は、削除するアラームの   をタップします。
- アラームを削除した直後に画面右下に表示される [元に戻す] をタップすると、元に戻すことができます。

◆ タイマーの利用

1 ホーム画面で → [時計]

2 [タイマー]


タイマー画面が表示されます。

3 時間を入力 →

カウントダウンが開始されます。

4 カウントダウンが終了したら /

カウントダウンを一時停止：カウントダウン中に 

- カウントダウンを再開する場合は  をタップします。

カウントダウンをリセット：カウントダウン一時停止中に [リセット]

タイマーを削除：[削除]

タイマーを追加：[タイマーを追加] → 時間を入力→



- タイマー画面を上下にスライドすると他のタイマーを表示できます。

時間を1分追加：カウントダウン中に [+ 1:00]

- タップするたびにカウントダウンの時間が1分追加されます。

◆ ストップウォッチの利用

1 ホーム画面で → [時計]

2 [ストップウォッチ]

ストップウォッチ画面が表示されます。

3

計測が開始されます。

ラップを追加：計測中に [ラップ]

計測を一時停止：計測中に

- 計測を再開する場合は をタップします。

計測をリセット：計測中または停止中に [リセット]

計測結果を共有：計測停止中に [共有]

電卓

1 ホーム画面で → [電卓]

2 計算する

入力した数字や記号の消去：

数式や計算結果をすべて消去： (ロングタッチ)

✓お知らせ-----

- 計算結果が表示されている場合は、結果を使って続けて数式を入力できます。

検索

[Google] アプリを利用して検索します。

- アプリのバージョンによって項目や表示が異なる場合があります。

◆ Google 検索

キーワードを入力してWebサイトを検索します。また、Google アカウントでログインすると、検索の履歴や関心のあるトピックに関する最新情報などが利用できます。

1 ホーム画面で [Google] → [Google]

2 キーワードを入力


文字の入力に従って検索候補が表示されます。

- 文字を入力して をタップすると、Webサイトの検索候補が表示されます。

3 検索候補から選択

◆ 音声検索

音声でキーワードを入力してWebサイトを検索できます。

- 1 ホーム画面で[Google]→[Google]→→送話口/マイクに向かってキーワードを発声

2 Webサイトの検索候補から選択

✓お知らせ

- Google 検索の詳細については、Google 検索画面で[その他] → [ヘルプ] をタップしてヘルプをご覧ください。

ドコモデータコピー

「ドコモデータコピー」は、本端末に保存されているデータを他の端末へコピーしたり、バックアップ/復元をしたりするためのアプリです。

機種変更時のデータ移行や、大切なデータの定期的なバックアップにご利用ください。

- 機種やOS、ファイルの種類によっては、正しくコピー、バックアップ、復元ができない場合があります。
- コピー、バックアップ対象の電話帳は、docomoのアカウントとして登録されている電話帳です。
- 電池残量が不足しているとコピー、バックアップ、復元が実行できない場合があります。
- ドコモデータコピーの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

◆ データ移行

インターネットを使用しない1対1のダイレクト通信を利用して、電話帳、画像などのデータを移行先の端末へ直接コピーすることができます。

コピー元端末とコピー先端末の両方で「データコピー」を起動し、2台並べた状態で利用してください。

1 ホーム画面で→[データコピー]→[データ移行]

- 画面の指示に従って操作してください。
- コピー元端末とコピー先端末の両方に本アプリが必要です。インストールされていない場合、ドコモのホームページよりダウンロードできます。

◆ バックアップ・復元

microSDカードを利用して、電話帳や画像などのデータの移行やバックアップ・復元ができます。

- バックアップまたは復元中にmicroSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。データが破損する場合があります。
- 名前が登録されていない電話帳はバックアップできません。
- 本端末やmicroSDカードの空き容量が不足していると、バックアップ・復元が実行できない場合があります。
- 本アプリでは静止画・動画などのデータのうち本端末に保存されているもののみバックアップされます。microSDカードに保存されているデータはバックアップされません。
- 画面ロック中などは、設定した時刻どおりには定期バックアップが実行されず、次回起動可能となったときに実行されます。

❖ バックアップ

電話帳、メディアファイルなどのデータのバックアップを行います。

- 1 ホーム画面で ☰ →[データコピー]→[バックアップ&復元]
- 2 [バックアップ]→[バックアップ開始]→[開始する]
 - 選択したデータがmicroSDカードに保存されます。
- 3 [トップに戻る]

❖ 復元

microSDカードにバックアップした電話帳、メディアファイルなどのデータを本端末に復元します。

- 1 ホーム画面で ☰ →[データコピー]→[バックアップ&復元]
- 2 [復元]→[次へ]→[復元開始]→[開始する]
 - 選択したデータが本端末に復元されます。
- 3 [トップに戻る]
 - 定期バックアップスケジュールが未設定の場合は、「定期バックアップをONにする」と表示されますので、画面の指示に従って操作してください。

❖ 電話帳をdocomoのアカウントにコピー

Google アカウントの連絡先をdocomoのアカウントにコピーします。

- 1 ホーム画面で ☰ →[データコピー]→[バックアップ&復元]
- 2 [電話帳アカウントコピー]→コピーする電話帳の[選択]→[上書き]／[追加]
 - コピーした連絡先がdocomoのアカウントに保存されます。
- 3 [OK]

本体設定

設定メニュー

設定メニューから各種設定を行います。

1 ホーム画面で → [設定]

設定メニューが一覧で表示されます。

- [設定を検索] をタップすると、設定メニューの項目を検索することができます。

	カテゴリ	参照
ネットワーク とインター ネット	Wi-Fi	P123
	モバイル ネットワーク	P126
	データセーバー	P128
	アクセス ポイントとテザリング	P128
	機内モード	P129
	VPN*	P130
	プライベートDNS*	P130
接続済みのデ バイス	新しいデバイスとペア設定する	P157
	以前接続されていたデバイス	P158
	接続の設定	P131
アプリと通知		P131
電池		P133
表示の設定		P134
音		P136
ストレージ		P138

	カテゴリ	参照
	プライバシー	P138
	位置情報	P116
	セキュリティ	P139
	ドコモのサービス/クラウド	P144
	アカウント	P145
	ユーザー補助	P146
	arrowsオススメ機能	P147
	Digital Wellbeing と保護者による使用制限	P149
	Google	P149
システム	言語と入力	P150
	動作	P151
	日付と時刻	P152
	バックアップ	P152
	リセット オプション*	P152
	システム アップデート*	P176
	診断データ送信*	P153
デバイス情報		P153

* [詳細設定] をタップすると表示されます。

Wi-Fi

本端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスの無線LANアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。無線LANアクセスポイントに接続するには、接続情報を設定する必要があります。


■ Bluetooth機能との電波干渉について

無線LAN (IEEE802.11b/g/n) とBluetooth機能は同一周波数帯 (2.4GHz) を使用しています。そのため、本端末の無線LAN機能とBluetooth機能を同時に使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがありますので、同時には使用しないでください。

また、本端末の無線LAN機能のみ使用している場合でも、Bluetooth機器が近辺で使用されていると、同様の現象が発生します。このようなときは、次の対策を行ってください。



- 本端末とBluetooth機器は10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、Bluetooth機器の電源を切ってください。

◆ Wi-FiをONにしてネットワークに接続

- 1 ホーム画面で  → [設定] → [ネットワークとインターネット] → [Wi-Fi]
- 2 [Wi-Fiの使用] をONにする
- 3 Wi-Fiネットワークを選択

- セキュリティで保護されたWi-Fiネットワークを選択した場合は、パスワード (セキュリティキー) を入力し、[接続] をタップします。

✓お知らせ

- Wi-Fi機能がONのときもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。Wi-Fiネットワークが切断されると、自動的に5G/LTE/3G/GPRSネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままご利用になる場合は、パケット通信料がかかる場合がありますのでご注意ください。
- ドコモサービスをWi-Fi経由で利用する場合はdアカウントの設定が必要です。設定するには、ホーム画面で  → [設定] → [ドコモのサービス/クラウド] → [dアカウント設定] をタップして操作してください。
- 複数のWi-Fiネットワークを保存している場合、接続先を切り替えるには切り替え先のWi-Fiネットワークを選択してください。現在接続中のWi-Fiネットワークが切断され、選択したWi-Fiネットワークに自動的に切り替わりません。
※ 切断したネットワークの情報は削除されません。接続操作を行うと再接続できます。
- インターネットに接続されていないアクセスポイントに接続すると、 などが表示され、Wi-Fiではなくモバイルネットワークで通信が行われる場合があります。
- インターネットに接続されていないアクセスポイントには、自動で再接続しないことがあります。自動で再接続させる場合は、「XXXXはインターネットにアクセスできません」(XXXXはアクセスポイント名) の通知をタップ → [このネットワークについて次回から表示しない] にチェックを付ける → [はい] をタップしてください。

◆ Wi-Fiネットワークの追加

ネットワークSSIDやセキュリティを入力して、手動でWi-Fiネットワークを追加します。

- あらかじめWi-FiをONにしてください。

1 ホーム画面で \square →[設定]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi]

2 [ネットワークを追加]

- \square をタップし、QRコードをスキャンしてもネットワークを追加することができます。

3 追加するWi-FiネットワークのネットワークSSIDを入力→セキュリティを選択

- セキュリティは [なし] [Enhanced Open] [WEP] [WPA/WPA2-Personal] [WPA3-Personal] [WPA/WPA2/WPA3-Enterprise] [WPA3-Enterprise 192-bit] が設定可能です。

4 必要に応じて追加のセキュリティ情報や詳細設定を設定→[保存]

- ステルス機能を有効にした非公開のWi-Fiネットワークの場合は、[非公開ネットワーク]を[[はい]にしてください。

◆ Wi-Fiネットワークの接続情報の削除

1 ホーム画面で \square →[設定]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi]

2 接続しているWi-Fiネットワークを選択→[削除]

- [共有]が表示されている場合は、[共有]をタップするとQRコードが表示され、現在接続中のWi-Fiアクセスポイントを共有することができます。
- \square をタップすると、Wi-Fiネットワークの設定を編集することができます。

◆ Wi-Fi設定

1 ホーム画面で \square →[設定]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi]

2 [Wi-Fi設定]

3 各項目を設定

Wi-Fiを自動的にONにする：設定方法→P125
オープン ネットワークの通知：高品質のWi-Fiオープンネットワークが利用可能なとき、通知するかを設定します。

モバイルデータへの自動切り替え：Wi-Fiでインターネットにアクセスできないとき、自動的にモバイルデータ通信に切り替えるかを設定します。

証明書のインストール※：証明書をインストールします。

ネットワーク評価プロバイダ※：よりよいWi-Fiネットワークに接続するために、Wi-Fiネットワークの状態などを評価するプロバイダを設定します。

Wi-Fi Direct※：設定方法→P125

MACアドレス※：MACアドレスが表示されます。


IPアドレス※：IPアドレスが表示されます。

※ [詳細設定] をタップすると表示されます。

◆ Wi-Fiを自動的にONにする

保存済みの高品質なWi-Fiネットワークを検出したとき、自動でWi-Fi機能をONにすることができます。

- あらかじめ [位置情報] をONにしてください。→ P116

1 ホーム画面で  → [設定] → [ネットワークとインターネット] → [Wi-Fi]

2 [Wi-Fi設定] → [Wi-Fiを自動的にONにする] をタップしてON/OFFを設定


✓お知らせ

- 次のような場合は、本機能が動作しません。
 - [機内モード] がONの場合
 - ステルス機能を有効にした非公開のWi-Fiネットワークの場合
 - Wi-Fiを手動でOFFにした直後の場合（検出が再開されるまでしばらく時間がかかります）


◆ Wi-Fi Directで他の機器と接続

アクセスポイントなどを経由せずに、Wi-Fi Direct対応機器同士で接続ができます。

- あらかじめWi-FiをONにしてください。
- Wi-Fi Directを利用して動画や静止画などのデータ交換を行うためには、Wi-Fi Directのデータ交換に対応したアプリを Play ストアから入手し、インストールする必要があります。

1 ホーム画面で  → [設定] → [ネットワークとインターネット] → [Wi-Fi]

2 [Wi-Fi設定] → [詳細設定] → [Wi-Fi Direct]

- 接続するWi-Fi Direct対応機器が表示されないときは、 → [デバイスの検索] をタップします。

3 検出されたWi-Fi Direct対応機器をタップ


Wi-Fi Direct対応機器の切断：接続済みのWi-Fi Direct対応機器をタップ → [OK]

■ 他のWi-Fi Direct対応機器から接続要求を受けた場合

接続への招待画面が表示された場合は、[同意する] をタップしてください。

◆ Wi-Fiデータ使用量

Wi-Fiデータ使用量がグラフで表示されます。また、アプリごとのWi-Fiデータ使用量も確認できます。

1 ホーム画面で  → [設定] → [ネットワークとインターネット] → [Wi-Fi]

2 [Wi-Fiデータ使用量]

モバイル ネットワーク

モバイルデータ通信に関する設定を行います。

1 ホーム画面で☰→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[モバイル ネットワーク]

2 各項目を設定

モバイルデータ：設定方法→P126

データローミング：設定方法→P165

アプリのデータ使用量：モバイルデータ使用量がグラフで表示されます。また、アプリごとのモバイルデータ使用量も確認できます。

4G 回線による通話：通話時にVoLTEを有効にするかを設定します。

優先ネットワークの種類：設定方法→P166

ネットワークを自動的に選択※：設定方法→P166

ネットワークを選択※：利用するネットワークを設定します。

- [ネットワークを自動的に選択] がONの場合は設定できません。

アクセスポイント名※：設定方法→P126

※ [詳細設定] をタップすると表示されます。

◆ モバイルデータ

モバイル ネットワーク経由のインターネットアクセス（パケット通信）をON/OFFにします。

- 1 ホーム画面で☰→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[モバイル ネットワーク]
- 2 [モバイルデータ]をタップしてON/OFFを設定

✓お知らせ

- アプリによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信を切断するかタイムアウトにならない限り、接続されたままになります。必要に応じて [モバイルデータ] のON/OFFを切り替えてください。

◆ アクセスポイント (APN) の設定

インターネットに接続するためのアクセスポイント (spモード) は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。


spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

<https://www.nttdocomo.co.jp/service/spmode/>

- テザリングを有効にしているときは、アクセスポイントの設定はできません。→P128

❖ 利用中のアクセスポイントの確認

- 1 ホーム画面で $\left[\begin{smallmatrix} \text{H} \\ \text{I} \end{smallmatrix} \right]$ →[設定]→[ネットワークとインターネット]→[モバイル ネットワーク]→[詳細設定]→[アクセスポイント名]

APNの一覧画面が表示されます。利用中のアクセスポイントにはが表示されています。

❖ アクセスポイントの追加

- MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

- 1 ホーム画面で $\left[\begin{smallmatrix} \text{H} \\ \text{I} \end{smallmatrix} \right]$ →[設定]→[ネットワークとインターネット]→[モバイル ネットワーク]→[詳細設定]→[アクセスポイント名]

- 2 [+]

アクセスポイントの編集画面が表示されます。

- 3 [名前]→ネットワークプロファイル名を入力→[OK]

- 4 [APN]→アクセスポイント名を入力→[OK]

- 5 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力→ $\left[\begin{smallmatrix} \text{H} \\ \text{I} \end{smallmatrix} \right]$ →[保存]

✓お知らせ

- MCC、MNCの設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、アクセスポイントを初期化するか、手動でアクセスポイントの設定を行ってください。

❖ アクセスポイントの初期化

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

- 1 ホーム画面で $\left[\begin{smallmatrix} \text{H} \\ \text{I} \end{smallmatrix} \right]$ →[設定]→[ネットワークとインターネット]→[モバイル ネットワーク]→[詳細設定]→[アクセスポイント名]


- 2 $\left[\begin{smallmatrix} \text{H} \\ \text{I} \end{smallmatrix} \right]$ →[初期設定にリセット]

✓お知らせ

- APNの一覧画面でアクセスポイントをタップ→アクセスポイントの編集画面で $\left[\begin{smallmatrix} \text{H} \\ \text{I} \end{smallmatrix} \right]$ →[APNを削除]をタップすると、アクセスポイントを1件ずつ削除できます。

◆ データの警告と制限

データ使用量の使用サイクル（測定期間）を設定したり、データ使用量の警告値や上限値を設定したりできます。

- 1 ホーム画面で $\left[\begin{smallmatrix} \text{H} \\ \text{I} \end{smallmatrix} \right]$ →[設定]→[ネットワークとインターネット]→[モバイル ネットワーク]→[アプリのデータ使用量]→

- 2 各項目を設定

✓お知らせ

- 表示されるデータ使用量は目安です。実際のデータ使用量は「My docomo」で確認できます。
- データ使用量が指定の上限に達したときは、モバイルデータ通信が一時停止中であることをお知らせする画面が表示されます。モバイルデータ通信を再開するには[再開]をタップします。

データセーバー

データの使用量を抑えるようにするかを設定します。

- 1 ホーム画面で \square →[設定]→[ネットワークとインターネット]→[データセーバー]
- 2 [データセーバーを使用]をONにする
 - [無制限のデータアクセス] をタップすると、データ使用を無制限にするアプリを設定できます。

アクセス ポイントとテザリング

テザリングとは、スマートフォンなどのモバイル機器をモデムとして使用することにより、Wi-FiやUSBケーブル、Bluetooth通信で接続した外部接続機器を、インターネットに接続できるようにする機能です。

- テザリングを有効にした状態では、インターネット接続・メールサービス以外のspモードの機能について、認証できない場合やdアカウントによるログインを求められる場合があります。認証できない場合はテザリングを解除してご利用ください。
- テザリングを利用してインターネットに接続した場合、ご利用の環境によってはWi-Fi対応機器のブラウザやゲームなどのアプリが正常に動作しない場合があります。
- テザリングのご利用には、パケットバック/パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 最大で15台 (Wi-Fiテザリング：10台、USBテザリング：1台、Bluetoothテザリング：4台) の機器を同時に接続できます。

◆ Wi-Fiテザリング

本端末をWi-Fiアクセスポイントとして利用することで、Wi-Fi対応機器をインターネットに接続できます。

- Wi-Fi対応機器を10台まで同時接続できます。
- テザリングは、2.4GHzのみに対応しています。


- 1 ホーム画面で \square →[設定]→[ネットワークとインターネット]→[アクセス ポイントとテザリング]→[Wi-Fiアクセス ポイント]
- 2 画面右上のボタンをタップして[Wi-Fiアクセス ポイント]をONにする

◆ Wi-Fiテザリングの設定

必要に応じて設定を変更します。

- お買い上げ時は、アクセス ポイント名には [F-52A_XXXX] (XXXXは4桁の数字) が、セキュリティには [WPA2-Personal] が、[アクセス ポイントのパスワード] にはランダムな値が設定されています。

- 1 ホーム画面で \square →[設定]→[ネットワークとインターネット]→[アクセス ポイントとテザリング]→[Wi-Fiアクセス ポイント]
- 2 アクセス ポイント名を入力→セキュリティを選択→アクセス ポイントのパスワードを入力

- セキュリティは [WPA3-Personal] [WPA2-Personal] [なし] が設定できます。
-  をタップし、QRコードをスキャンしてもアクセスポイントの共有をすることができます。

✓お知らせ

- 手順2で [詳細設定] → [アクセス ポイントを自動的にオフにする] をONにすると、Wi-Fi対応機器の接続がない状態が続いたときにWi-Fiテザリングが自動的にOFFになります。

◆ USBテザリング

本端末をUSBケーブル A to C 02 (別売品) でパソコンと接続し、モデムとして利用することでインターネットに接続できます。

1 本端末とパソコンをUSBケーブル A to C 02で接続

USBの設定画面が表示されます。

2 [USBテザリング]

✓お知らせ

- Windows 8.1、Windows 10のパソコンで動作を確認しています。ただし、すべてのパソコンで動作を保証するものではありません。

◆ Bluetoothテザリング

Bluetooth機器をインターネットに接続できます。

- Bluetooth機器を4台まで同時接続できます。
- あらかじめBluetooth機器とのペア設定が必要です。→ P157

1 ホーム画面で → [設定] → [ネットワークとインターネット] → [アクセス ポイントとテザリング]

2 [Bluetoothテザリング] をONにする

✓お知らせ

- Bluetooth機器側の設定については、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。


機内モード

機内モードを設定すると、本端末のワイヤレス機能 (電話、パケット通信、Wi-Fi、テザリング、Bluetooth機能) が無効になります。ただし、Wi-Fi、Bluetooth機能は機内モード中に手動でONにすることができます。

1 ホーム画面で → [設定] → [ネットワークとインターネット]

2 [機内モード] をONにする

✓お知らせ

-  (電源キー) (1秒以上) → [機内モード] をタップしても、機内モードを設定/解除できます。

VPN (仮想プライベートネットワーク)

VPN (Virtual Private Network : 仮想プライベートネットワーク) は、企業や大学などの保護されたローカルネットワーク内の情報に、外部からアクセスする技術です。本端末からVPN接続を設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手してください。

◆ VPNの追加

- 1 ホーム画面で → [設定] → [ネットワークとインターネット] → [詳細設定] → [VPN]
- 2 [+] → 各項目を設定 → [保存]

◆ VPNへの接続

- 1 ホーム画面で → [設定] → [ネットワークとインターネット] → [詳細設定] → [VPN]
- 2 接続するVPNを選択
- 3 必要に応じて認証情報を入力 → [接続]
VPNに接続すると、ステータスバーに が表示されます。

◆ VPNの切断

- 1 ホーム画面で → [設定] → [ネットワークとインターネット] → [詳細設定] → [VPN]
- 2 切断するVPNを選択
- 3 [切断]

プライベートDNS

対応するDNSサーバーとの通信を自動で暗号化するかを設定したり、利用するプライベートDNSプロバイダを登録したりします。

- 1 ホーム画面で → [設定] → [ネットワークとインターネット] → [詳細設定] → [プライベートDNS]
- 2 項目を選択 → [保存]
 - [プライベートDNSプロバイダのホスト名] をタップした場合は、DNSプロバイダのホスト名を入力します。

接続の設定

Bluetooth機器との接続など、他の機器との接続に関する設定を行います。

- 利用状況により項目が表示されない場合があります。

1 ホーム画面で \square →[設定]→[接続済みのデバイス]→[接続の設定]

2 各項目を選択

Bluetooth：設定方法→P157

NFC／おサイフケータイ：設定方法→P159

NFC／おサイフケータイ ロック ON／OFF：設定方法→P112

キャスト：設定方法→P162

印刷：設定方法→P160

Bluetoothで受信したファイル：他のBluetooth機器から受信したファイルを確認します。

Chromebook：本端末と Chromebook™ をリンクします。

ニアバイシェア※：本端末の近くにあるデバイスとファイルを共有できます。

※ 使用状況によって表示が異なる場合があります。

アプリと通知

アプリに関する設定を行います。

1 ホーム画面で \square →[設定]→[アプリと通知]

2 各項目を設定

最近開いたアプリ：最近起動したアプリが表示されます。すべてのアプリを表示するには [XX個のアプリをすべて表示] をタップします。

通知：設定方法→P133

利用時間：ダッシュボードが表示され、本端末の利用時間などを確認したり、1日に利用できる最大時間をアプリごとに設定したりできます。

デフォルトのアプリ：デフォルトで使用するブラウザアプリや電話アプリ、SMSアプリなどを設定します。

権限マネージャ※：アプリの権限の設定を変更できます。

エリアメール※：設定方法→P94


特別なアプリアクセス※：本端末の機能や情報にアクセスするアプリの設定を変更できます。

※ [詳細設定] をタップすると表示されます。

◆ アプリ情報


インストールしたアプリの管理や削除などを行います。

❖ アプリに許可されている動作の表示

1 ホーム画面で  → [設定] → [アプリと通知] → [XX個のアプリをすべて表示]

2 アプリを選択 → [権限]

❖ アプリのデータやキャッシュの削除


1 ホーム画面で  → [設定] → [アプリと通知] → [XX個のアプリをすべて表示]

2 アプリを選択 → [ストレージとキャッシュ] → [ストレージを消去] / [キャッシュを削除]

- [ストレージを消去] を選択した場合は [OK] をタップします。

❖ アプリの削除


- Play ストアから入手したアプリは、Google Play 画面から削除することをおすすめします。→P109
- お買い上げ時にインストールされているアプリによっては削除できません。また、削除した場合は本端末をリセットすると復元することができます。

1 ホーム画面で  → [設定] → [アプリと通知] → [XX個のアプリをすべて表示]

2 アプリを選択 → [アンインストール] → [OK]

❖ アプリの無効化

アプリの無効化は、アンインストールできない一部のアプリやサービスで利用できます。無効化したアプリはアプリ一覧画面やホーム画面などに表示されず、起動もできなくなります。アンインストールはされていません。

1 ホーム画面で  → [設定] → [アプリと通知] → [XX個のアプリをすべて表示]

2 アプリを選択 → [無効にする] / [有効にする]


- [無効にする] を選択した場合は [無効にする] をタップします。

✓お知らせ

- アプリを無効化した場合、無効化されたアプリと連携している他のアプリが正しく動作しないことがあります。その場合、再度アプリを有効にすることで正しく動作します。

❖ 電池の最適化

アプリごとの電池消費を抑えるために、本端末を使用していないときやアプリが数日間使用されていないときにアプリは無効にします。

1 ホーム画面で  → [設定] → [アプリと通知] → [詳細設定] → [特別なアプリアクセス] → [電池の最適化]

2 [最適化していないアプリ] → [すべてのアプリ] → アプリを選択 → [最適化する] / [最適化しない] → [完了]

◆ 通知

アプリや機能の通知に関する設定を行います。

1 ホーム画面で \square →[設定]→[アプリと通知]→[通知]

2 各項目を設定

過去7日間をすべて表示：通知を最近送信したアプリ／機能が表示され、通知の詳細を設定できます。

ロック画面上の通知：ロック画面に警告やサイレント通知を表示するかを設定します。

機密性の高い通知^{※1}：機密性の高いコンテンツをロック画面に表示するかを設定します。

通知のスヌーズを許可^{※2}：通知のスヌーズを許可するかを設定します。

操作や返信の候補^{※2}：操作や返信の候補を自動で表示するかを設定します。

通知ドットの許可^{※2}：アイコンにドット（点）を表示してアプリの通知をお知らせするかを設定します。

デフォルトの通知音^{※2}：通知音を設定します。

高度なサイレントモード^{※2}：高度なサイレントモード中の通知に関する詳細を設定します。

※1 セキュリティ解除方法を [なし] / [スワイプ] に設定している場合は表示されません。

※2 [詳細設定] をタップすると表示されます。

電池

電池残量の確認などを行います。

• 利用状況により表示が異なる場合があります。

1 ホーム画面で \square →[設定]→[電池]

2 各項目を設定

(電池の使用状況)：電池残量、電池切れの推定時間を表示します。

アプリは正常に実行されています：アプリの電池使用状況などが表示されます。

バッテリーセーバー：設定方法→P134

自動調整バッテリー：アプリの使用状況を学習し、使用頻度の低いアプリの電池使用を自動的に制限するかを設定します。

電池残量：ステータスバーに電池残量を表示するかを設定します。

電池長持ち充電：電池を100%まで充電するか、電池の寿命をより長くするために電池残量85%で充電を停止させるかを設定します。


前回のフル充電：前回のフル充電から経過したおよその時間を表示します。


電池の性能：内蔵電池の性能（充電能力）を表示します。

フル充電以降の画面の電池使用状況：前回のフル充電から画面が電池を使用したおよその時間を表示します。

◆ バッテリーセーバー

バッテリーセーバーを起動／停止します。

- バッテリーセーバーが起動すると、ステータスバーにが表示されます。


1 ホーム画面で→[設定]→[電池]→[バッテリーセーバー]

2 [スケジュールの設定]→[残量に基づく]

- スライダーをスライドして、バッテリーセーバーが自動的に起動する電池残量を設定できます。
- [フル充電で無効] をONにすると、電池残量が90%になるとバッテリーセーバーが自動的にOFFになります。
- [今すぐONにする] / [今すぐOFFにする] をタップすると、バッテリーセーバーを手動で起動／停止できます。

表示の設定

画面の明るさや壁紙など、画面の表示に関する設定を行います。

1 ホーム画面で→[設定]→[表示の設定]

2 各項目を設定

明るさのレベル：設定方法→P135

ダークテーマ：黒背景のテーマに変更します。

ブルーライトカットモード：画面から発せられる青い光を弱くするかを設定します。自動的にブルーライトカットモードをONにすることもできます。

明るさの自動調節：[明るさのレベル] で設定した明るさを基準に、周囲の明るさに応じて自動で明るさを調節します。

壁紙：壁紙を設定します。

画面消灯[※]：設定方法→P135

画面の自動回転[※]：本端末の向きに合わせて画面を回転させるかを設定します。

- 表示中の画面によっては、本端末の向きを変えても画面表示が切り替わらない場合があります。

カラー[※]：画面のカラーの調整ができます。

フォント[※]：表示フォントを変更できます。

フォントサイズ[※]：文字の大きさを変更します。

表示サイズ[※]：画面に表示されるアイコンなどのサイズを拡大／縮小します。


スクリーンセーバー[※]：設定方法→P135

ロック画面の表示[※]：ロック画面に表示する通知やメッセージを設定したり、カメラ／FASTメモの起動ができるように設定したり、スリープモード中も時計や通知アイコンなどを画面に表示するかを設定したりします。また、スリープモード中に画面をタップしたり本端末を持ち上げたりすることで、時計や通知を確認できるように設定できます。通知を受信したときにスリープモードを解除するように設定することもできます。

ホーム画面切替[※]：設定方法→P66

[※] [詳細設定] をタップすると表示されます。

✓お知らせ

- [画面の自動回転] をOFFに設定しても、本端末の向きを変えたときにナビゲーションバーにが表示された場合は、タップして画面表示を切り替えることができます。

◆ 画面の明るさ

画面の明るさを設定します。

- 1 ホーム画面で \square →[設定]→[表示の設定]→[明るさのレベル]
- 2 スライダーをスライドして明るさを調整

◆ 画面消灯

画面が消灯するまでの時間を設定します。

- 1 ホーム画面で \square →[設定]→[表示の設定]→[詳細設定]→[画面消灯]
 - 2 時間を選択
- ### ◆ スクリーンセーバー

充電中、スリープモードになった場合に表示するスクリーンセーバーを設定します。

- 1 ホーム画面で \square →[設定]→[表示の設定]→[詳細設定]→[スクリーンセーバー]
- 2 [現在のスクリーンセーバー]→設定するスクリーンセーバーを選択
- 3 必要に応じて \odot →各項目を設定
- 4 [起動するタイミング]→項目を選択
 - [今すぐ起動] をタップすると、スクリーンセーバーが起動します。

◆ ロック画面の表示

ロック画面の表示に関する設定を行います。

- 1 ホーム画面で \square →[設定]→[表示の設定]→[詳細設定]→[ロック画面の表示]

2 各項目を設定

ロック画面：ロック画面に表示する通知を設定します。

ロック画面メッセージ：ロック画面に表示するメッセージを入力します。

スライドでカメラ起動：ロック画面の右下にあるカメラアイコンを左にスワイプしてカメラを起動するかを設定します。

FASTメモの起動：ロック画面にあるFASTメモアイコンをスワイプしてFASTメモを起動するかを設定します。

ロックダウン オプションの表示*： \square （電源キー）を1秒以上押して表示されるメニューに「ロックダウン」を表示するかを設定します。

• [ロックダウン] をタップすると、Smart Lockや指紋認証による認証操作、ロック画面の通知表示を無効にすることができます。

常に表示：時刻、通知アイコンなどの情報をロック画面に常に表示するかを設定します。

画面をタップして時計を表示：タッチパネルをタップしたときに時計を表示するかを設定します。

デバイスを持ち上げて時計を表示：本端末を持ち上げたときに時計を表示するかを設定します。

新しい通知：通知を受信したときに通知の画面を表示するかを設定します。

* セキュリティ解除方法を [スワイプ] に設定している場合は表示されません。

音

音量や着信音、マナーモードなど音に関する設定を行います。

1 ホーム画面で \square →[設定]→[音]

2 各項目を設定

メディアの音量：設定方法→P136

通話の音量：設定方法→P136

着信音の音量：設定方法→P136

アラームの音量：設定方法→P136

着信バイブレーション：着信音が鳴っているときに、振動でもお知らせするかを設定します。

• マナーモード中は設定できません。

• OFFにしている場合でも、[着信音の音量]を0に設定するとバイブレーションが鳴動します。

着信のバイブレーション強度：着信時のバイブレーションの強度を設定します。

通知時のバイブレーション強度：通知時のバイブレーションの強度を設定します。

マナーモード：設定方法→P137

高度なサイレントモード：高度なサイレントモード中の通知に関する詳細を設定します。

• マナーモード中は設定できません。

Dolby Atmos：Dolby Atmosの設定をします。

着信音ミュート用のショートカット※： \square （電源キー）と音量キーの上を同時に押して着信音や通知音を鳴らさないようにするかを設定します。

• [バイブレーション]に設定すると、着信や通知があったときに振動します。[ミュート]に設定すると、着信や通知があっても音や振動は鳴動しません。

• マナーモード中は設定できません。

着信音※：電話着信音を設定します。

• 電話帳に着信音を設定している場合は、電話帳の着信音が優先されます。

デフォルトの通知音※：通知音を設定します。

デフォルトのアラーム音※：アラーム音を設定します。

ダイヤルパッドの操作音※：ダイヤルパッドを操作したときに音を鳴らすかを設定します。

画面ロック音※： \square （電源キー）を押して画面ロックをかけたときや、画面ロックを解除したときに音を鳴らすかを設定します。

充電時の音とバイブレーション※：充電開始時に音と振動でお知らせするかを設定します。

タッチ操作音※：項目などをタップしたときに音を鳴らすかを設定します。

タップ操作時のバイブ※：ナビゲーションバーのアイコンをタップしたときなどに、本端末を振動させるかを設定します。

※ [詳細設定] をタップすると表示されます。

◆ 音量







メディア再生音、通話音、着信音、アラームの音量を調節できます。

• マナーモード中は [メディアの音量] [通話の音量] [アラームの音量] の設定ができます。

1 ホーム画面で \square →[設定]→[音]

2 [メディアの音量] / [通話の音量] / [着信音の音量] / [アラームの音量]のスライダーをスライドして音量を調節

✓お知らせ

- [着信音の音量] を0にすると、バイブレーションがONになります。バイブレーションをOFFにしたい場合は、サイレントマナー (→P137) などに設定してください。
- 音量キーを押しても [メディアの音量] を調節できます。
- 音量キーを押して表示される画面でアイコンをタップすると、バイブレーション/ミュートに設定することができます。
 -  をタップ ( 表示) : バイブレーション (着信と通知をバイブレーションでお知らせ)
 -  をタップ ( 表示) : ミュート (着信と通知を音やバイブレーションでお知らせしない)
 -  をタップ ( 表示) : [着信音の音量] で設定した音量で着信と通知をお知らせ



◆ マナーモード

マナーモードを設定/解除します。

- マナーモードの種類は変更できます。→P137

1 ホーム画面で → [設定] → [音] → [マナーモード]

2 [マナーモード]をONにする

マナーモードを設定すると、ステータスバーに (通常マナー) または (サイレントマナー) が表示されます。

✓お知らせ

- 通知パネルを開く→パネルスイッチで [マナー] / [サイレント] をタップしても、マナーモードを設定/解除できます。
- 本端末では、マナーモードの設定に関わらず、シャッター音、撮影開始音/撮影終了音、オートフォーカスロック音、セルフタイマーのカウントダウン音、カメラ起動中のスクリーンショット音、カメラ起動中のキャプメモ/なぞってコピーのキャプチャ音、アラーム音が鳴ります。アラーム音を鳴らさないようにするには、アラームの設定でアラーム音を [マナーモード] に設定してください。→P118
- マナーモード中でも、音量キーを押すか [メディアの音量] で音量を調節することで、メディア再生音が鳴りうることができます。

❖ マナーモードの種類を変更

1 ホーム画面で → [設定] → [音] → [マナーモード] → [マナーモード選択]

2 項目を選択

通常マナー : 本端末のスピーカーから音を鳴らします。また、バイブレーションがONになります。

サイレントマナー : 音を鳴らさないだけでなく、バイブレーションもOFFになります。

ストレージ

内部ストレージやmicroSDカードの使用状況を確認します。

1 ホーム画面で☰→[設定]→[ストレージ]

2 各項目を設定

内部共有ストレージ：本端末のメモリの使用容量と合計容量、データごとの使用容量を表示します。

SDカード：microSDカードのデータ一覧画面を表示します。▲をタップすると、microSDカードのマウントを解除（認識を解除）して安全に取り外すことができます。microSDカードを認識させるには [SDカード] → [マウント] をタップします。

◆ microSDカードのデータ消去（フォーマット）

• 操作を行うと、microSDカード内のデータがすべて消去されますのでご注意ください。

1 ホーム画面で☰→[設定]→[ストレージ]→[SDカード]

2 ⋮→[ストレージの設定]→[フォーマット]

3 [SDカードをフォーマット]→[完了]

プライバシー

プライバシーに関する設定を行います。

1 ホーム画面で☰→[設定]→[プライバシー]

2 各項目を設定

権限マネージャ：アプリの権限の設定を変更できません。

パスワードの表示：暗証番号／パスワード入力時に入力した文字を表示するかを設定します。

ロック画面：ロック画面にプライベートな内容の通知を表示するかを設定します。

Google の自動入力サービス：Google アカウントに保存されているパスワードなどを自動で入力するかを設定します。

Google ロケーション履歴※：本端末を持って訪れた場所を保存するかを設定します。

アクティビティ管理※：ウェブとアプリのアクティビティを保存するかを設定します。

広告※：Google 広告のカスタマイズ設定を管理します。

使用状況と診断情報※：使用状況と診断情報をGoogle に自動的に送信するかを設定します。

※ [詳細設定] をタップすると表示されます。

セキュリティ

セキュリティに関する設定を行います。

1 ホーム画面で \square →[設定]→[セキュリティ]

2 各項目を設定

Google Play プロテクト：本端末を定期的にスキャンし、セキュリティ上の脅威を確認するかを設定します。

デバイスを探す：本端末の紛失時にリモートで端末の位置を特定したり、ロックやデータ消去をしたりするかを設定します。

セキュリティ アップデート：設定方法→P176

Google Play システム アップデート*1：設定方法→P176

セキュリティ解除方法：設定方法→P139

指紋管理/FASTフィンガーランチャー：設定方法→P142

Smart Lock：設定方法→P142

パーソナルノート：設定方法→P143

デバイス管理アプリ：デバイス管理アプリを有効にするかを設定します。

SIM カードロック*2：設定方法→P46

暗号化と認証情報*3：設定方法→P143

信頼エージェント*3：Smart Lockなどの機能の信頼できるエージェントを管理します。

利用アプリの固定*3：設定方法→P144

*1 Google アカウント設定時に表示されます。

*2 ドコモnanoUIMカードを取り付けていない場合は表示されません。

*3 [詳細設定] をタップすると表示されます。

◆セキュリティ解除方法の設定

画面ロックの解除時に使用する認証操作の種類などを設定します。

1 ホーム画面で \square →[設定]→[セキュリティ]→[セキュリティ解除方法]

2 認証操作

- 初めて設定するときには、認証操作は必要ありません。

3 項目を選択

なし：ロック画面を表示しないように設定します。

スワイプ：スワイプでロックを解除するように設定します。

パターン：最低4つの点を結ぶパターンでロックを解除するように設定します。

暗証番号：暗証番号（4～16桁の数字）でロックを解除するように設定します。

パスワード：パスワード（4～16桁の英数字と記号）でロックを解除するように設定します。

4 必要に応じて[セキュリティ解除方法]の \square →各項目を設定

- セキュリティ解除方法の設定により表示される項目は異なります。

パターンを表示する：画面ロック解除時のパターン入力時にパターンを表示するかを設定します。

画面消灯後にロック：認証操作が必要なセキュリティ解除方法を選択した場合、スリープモードになってから設定した時間が経過すると、画面ロックがかかるように設定できます。

電源ボタンですぐにロックする：☐（電源キー）を押してすぐに画面ロックをかけるかを設定します。画面ロックを解除するには認証操作が必要です。

✓お知らせ

- 認証ストレージを利用中に使用できるセキュリティ解除方法は、パターン、暗証番号、パスワード、指紋認証のいずれかになります。

◆画面ロックをかける

セキュリティ解除方法を設定（→P139）した後に、☐（電源キー）を押してスリープモードにする、または自動的に画面が消灯してから【画面消灯後にロック】で設定した時間が経過すると、画面ロックがかかります。

- 画面ロックを解除する場合は、☐（電源キー）を押してスリープモードを解除し、セキュリティ解除方法の種類に応じて解除操作を行います。

✓お知らせ

- Google アカウントを設定している場合に、パソコンやタブレットなどからパスワードによるロックを設定することができます。端末紛失時などは次のURLにアクセスし、本端末に設定されている Google アカウントでログインしてください。
<https://www.google.com/android/devicemanager>
 - 新しいパスワードを本端末に入力することで、画面ロックを解除することができます。
 - Google アカウントでログインしていない場合は操作できません。

◆解除方法を忘れたときは

- 認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定している場合、画面ロックの解除に5回以上失敗すると、一時的に解除の操作ができなくなりますが、一定時間経過後にやり直すことができます。
- セキュリティ解除方法のパターン／暗証番号／パスワードを忘れた場合は、ドコモショップにお問い合わせください。

✓お知らせ

- 画面ロックを解除しなくても、ロック画面から緊急通報を行うことができます。→P77

◆指紋認証機能

本端末は、あらかじめ登録した指紋でセキュリティの認証を行う指紋認証機能を搭載しています。

◆指紋認証機能利用時の留意事項

- 画面保護フィルムを使用する際は、指紋センサー対応製品であることを確認してください。
- 市販の画面保護フィルムを貼り付けると、指紋認証が正常に認識できないことがあります。
- 画面保護フィルムを貼り付けた際は、再度指紋登録を行ってください。
- 指紋の特徴情報を利用して認証を行うため、特徴情報が少ないお客様の場合は、指紋認証を利用できないことがあります。
- 指紋の登録には同じ指で繰り返し読み取る必要があります。異なる指で登録を行わないでください。

- 指紋登録や認証の際は、画面上のセンサーに指を置き、振動したら指を離し、これを繰り返します。指紋の端までキャプチャできるように毎回指の位置を変えてください。
- 指先だけで指紋センサーに触れたりすると、正常に認識できないことがあります。
- 指の押し当て方が弱かったり指の離し方が速すぎたりすると、正常に認識できないことがあります。
- 認証性能（指で指紋センサーに正しく触れた際に指紋が認証される性能）は、お客様の使用状況により異なります。指の状態が次のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。なお、手を拭く、手を洗う、認証する指を変える、指の登録範囲を広くするなど、お客様の指の状態に合わせて対処することで、認証性能が改善されることがあります。
 - お風呂上がりなどで指がふやけていたり、濡れていたり、汗をかいたりしている
 - 指に汗や脂が多く付着している
 - 泥や油などで指が汚れている
 - 手が荒れていたり、指に損傷（切傷やただれなど）を負ったりしている
 - 指が極端に乾燥している
 - 太ったりやせたりして指紋が変化した
 - 指の表面が磨耗して指紋が薄い
 - 登録時に比べ、認証時の指の表面状態が極端に異なる
- デスクトップパソコンなどアースを必要とする機器に本端末をUSBケーブルで接続するときは、必ず機器のアースが接続されていることを確認してください。アースが接続されていない状態で接続している間は、指紋認証できない場合があります。そのときは、本端末を機器から取り外して指紋認証を行ってください。

- 指紋認証技術は完全な本人認証・照合を保証するものではありません。当社では第三者に本端末を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関して、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- セキュリティ解除方法を指紋認証に設定しても、72時間ごとおよび本端末起動時には予備のセキュリティ解除方法で画面ロックを解除する必要があります。予備のセキュリティ解除方法をお忘れにならないようご注意ください。

❖ 指紋センサー利用時の注意事項

- 指紋センサー表面は防水性を有していますが、指紋センサー表面や操作する指先に水滴や汚れが付着した場合は誤動作の原因となります。柔らかい布で水滴・汚れを取り除いてご使用ください。また、水分により指先がふやけた場合でも、誤動作の原因となる場合があります。
- 指先だけで指紋センサーに触れたりすると、正常に認識できないことがあります。緑色の光を覆うよう指を置いてください。
- 次のような場合は、故障および破損の原因となることがあります。
 - ぶつけたり、強い衝撃を与えたりする
 - ひっかいたり、先の尖ったものでつついたりする
 - 爪やストラップの金具など硬いものを押し付け、指紋センサー表面に傷が入る
 - 泥などで指紋センサー表面に傷が入る、表面が汚れる
 - シールを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりする
- 次のような場合は、指紋の読み取りが困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。指紋センサー表面は時々清掃してください。
 - ほこりや皮脂などの汚れ、汗などの水分の付着や結露

- 次のような現象が起きる場合は、指紋センサー表面を清掃してください。現象が改善されることがあります。
 - 指紋の登録失敗や認証失敗が頻発する
- 指紋センサーを清掃する際には、静電気の発生しにくい乾いた柔らかい布で表面の汚れを取り除いてください。長期間の使用によりゴミがたまる場合がありますが、その場合でも先の尖ったもので取り除かないでください。
- 静電気が故障の原因となる場合があります。指紋センサーに指を置く前に、金属に手を触れるなどして静電気を取り除いてください。冬期など乾燥する時期は、特にご注意ください。

❖ 指紋登録

- 1 ホーム画面で **+** → [設定] → [セキュリティ] → [指紋管理 / FASTフィンガーランチャー]
 - 認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定している場合は、認証操作を行って手順3に進みます。
- 2 予備のセキュリティ解除方法を選択 → 画面の指示に従って設定
- 3 登録する指をタップ → 画面の指示に従って指紋を登録 → [完了]
 - [アプリを登録] をタップすると、指紋で起動できるアプリを登録できます。→ P142

❖ 指紋認証の操作

- 1 ロック画面で、登録した指で指紋センサーに触れる

- 正しく認証されない場合は、指紋登録時に設定した予備のセキュリティ解除方法（パターン / 暗証番号 / パスワード）で認証操作を行ってください。

❖ FASTフィンガーランチャー

指紋センサーに触れると、ロック解除とよく使うアプリの起動が簡単にできます。

- 1 ホーム画面で **+** → [設定] → [セキュリティ] → [指紋管理 / FASTフィンガーランチャー] → 認証操作
- 2 指紋を登録済みの指をタップ
 - 指紋を登録していない指をタップすると、指紋を追加できます。
 - **■** をタップすると指紋を削除できます。
- 3 [ダイレクトモード] / [ランチャーモード]
 - モード名をタップすると、モードを切り替えることができます。
- 4 画面の指示に従ってアプリを登録 → [完了]

✓お知らせ

- アプリ起動中にパネルスイッチから [FASTフィンガーランチャー] をタップすると、指紋登録済みの指に起動中のアプリを登録することができます。

◆ Smart Lock

外部機器からの接続時などで画面ロックを解除する方法について設定します。

- あらかじめ認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定する必要があります。→ P139

1 ホーム画面で $\left[\begin{smallmatrix} \text{+} \\ \text{+} \end{smallmatrix} \right]$ →[設定]→[セキュリティ]→[Smart Lock]→認証操作

2 各項目を設定

- Smart Lockの詳細については、 $\left[\begin{smallmatrix} \text{?} \\ \text{?} \end{smallmatrix} \right]$ →[ヘルプ]をタップしてヘルプをご覧ください。

◆ パーソナルノート

ID (アカウント) やパスワードなど認証情報を登録して管理します。登録した内容を引用して入力できます。→ P50

- あらかじめ認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定する必要があります。→ P139
- 登録した内容を引用するには、Super ATOK ULTIASを使用する必要があります。
- 最大100件登録できます。

1 ホーム画面で $\left[\begin{smallmatrix} \text{+} \\ \text{+} \end{smallmatrix} \right]$ →[設定]→[セキュリティ]→[パーソナルノート]→認証操作

2 [新規登録]→各項目を設定→[完了]

編集: タイトルをタップ→各項目を編集→[完了]

削除: タイトルをロングタッチ→画面下部の $\left[\begin{smallmatrix} \text{〻} \\ \text{〻} \end{smallmatrix} \right]$ までドラッグ→[OK]

並べ替え: タイトルをロングタッチ→移動先までドラッグ

チュートリアル: $\left[\begin{smallmatrix} \text{?} \\ \text{?} \end{smallmatrix} \right]$ →[チュートリアル]→画面の指示に従って内容を確認

バックアップ/リストア: $\left[\begin{smallmatrix} \text{?} \\ \text{?} \end{smallmatrix} \right]$ →[バックアップ/リストア]→項目を選択→画面の指示に従って操作

全件削除: $\left[\begin{smallmatrix} \text{?} \\ \text{?} \end{smallmatrix} \right]$ →[全件削除]→[OK]

◆ 暗号化と認証情報

本端末が暗号化されていることを確認したり、認証情報を管理したりします。

1 ホーム画面で $\left[\begin{smallmatrix} \text{+} \\ \text{+} \end{smallmatrix} \right]$ →[設定]→[セキュリティ]→[詳細設定]→[暗号化と認証情報]

2 各項目を設定

スマートフォンの暗号化: 内部ストレージに保存されているシステムデータが暗号化されていることを確認できます。

- 本端末では [スマートフォンの暗号化] の設定を変更することはできません。

ストレージのタイプ: 認証情報ストレージのタイプを表示します。

信頼できる認証情報: 信頼できる認証情報や証明書を表示します。

ユーザー認証情報: 本端末に保存されているユーザー認証情報を管理します。

ストレージからのインストール: 認証情報や証明書をインストールします。

認証ストレージの消去: 認証ストレージからすべての認証情報や証明書、VPNの設定を消去します。

◆ 利用アプリの固定

現在起動しているアプリを固定して、他のアプリを利用できないように設定できます。

- 1 ホーム画面で \oplus →[設定]→[セキュリティ]→[詳細設定]→[利用アプリの固定]
- 2 画面右上のボタンをタップして[利用アプリの固定]をONにする
- 3 固定したいアプリを起動
- 4 \square →固定したいアプリのアイコンをタップ→[固定]→[はい]
 - アプリの固定を解除するには、 \blacktriangleleft (バック) と \square (履歴) を同時にロングタッチします。

✓お知らせ

- 手順2で[解除時のセキュリティ認証]をONにすると、アプリの固定を解除するときにセキュリティ解除操作が必要になるように設定できます。

ドコモのサービス／クラウド

ドコモのサービスやクラウドの設定を行います。

- 1 ホーム画面で \oplus →[設定]→[ドコモのサービス／クラウド]
- 2 各項目を設定
 - dアカウント設定**：ドコモアプリで利用するdアカウントを設定します。また、本端末に登録されている生体情報（指紋認証）を利用したdアカウント認証の設定もできます。
 - ドコモクラウド**：ドコモクラウドに対応した各種サービスのクラウド設定を行います。
 - ドコモアプリデータバックアップ**：各アプリのデータバックアップ／復元の設定や、データがバックアップされたアプリの一覧を確認できます。
 - ドコモアプリ管理**：ドコモが提供するアプリのアップデートをしたり、定期アップデート通知や自動アップデートなどを設定します。
 - おすすめアプリ**：おすすめアプリの設定や、通知の履歴の確認をします。
 - おすすめ使い方ヒント**：おすすめ使い方ヒントの設定や、ヒントの履歴の確認をします。
 - スグアップ設定**：スマホを振るなどの直感操作で、スグにアプリの起動や電話の操作ができます。→P63
 - ドコモ位置情報**：イマドコサーチ、イマドコかんたんサーチ、ケータイお探しサービスの位置情報サービス機能の設定を行います。
 - 端末アプリ情報送信**：アプリ情報をドコモが管理するサーバーへ送信するための設定を行います。

会員情報／プロフィール情報設定：ドコモの各種サービスで利用するお客様の会員情報／プロフィール情報を、確認・変更できます。

ドコモ初期設定：本端末を利用するためのサービス設定などを一括して行います。

USBデバッグ切替：ドコモショップなどで専用端末を利用するための設定を行います。

オープンソースライセンス：オープンソースライセンスを表示します。

✓お知らせ

- ドコモのサービス／クラウドで表示されるアプリの中には無効化できるものがあります。無効化した場合、ドコモのサービス／クラウドの一覧には表示されなくなることがあります。また、新たにドコモ提供のアプリをダウンロードすると、ドコモのサービス／クラウドの一覧に項目が追加されることがあります。

アカウント

アカウントを追加します。また、お客様ご自身のプロフィールなどを登録できます。

- 1 ホーム画面で☰→[設定]→[アカウント]
- 2 各項目を設定

アカウントを追加：設定方法→P145

自動的にデータを同期：アカウントのデータの同期を自動で行うかを設定します。

マイプロフィール：設定方法→P86

自分の電話番号：本端末の電話番号を確認できます。

自分から設定：健康系のアプリやウィジェットで利用する基本情報を設定します。

◆アカウントの追加

- 1 ホーム画面で☰→[設定]→[アカウント]
- 2 [アカウントを追加]→アカウントの種類を選択→画面の指示に従って操作
アカウントを設定：アカウントを選択→各項目を設定

◆アカウントの削除

- 1 ホーム画面で☰→[設定]→[アカウント]
- 2 アカウントを選択→[アカウントを削除]→[アカウントを削除]

✓お知らせ

- docomoのアカウントは削除できません。

◆手動で同期を開始

- 1 ホーム画面で☰→[設定]→[アカウント]
- 2 アカウントを選択→[アカウントの同期]→：→[今すぐ同期]

■同期の中止

- 1 同期中に：→[同期をキャンセル]

ユーザー補助

ユーザー操作を補助する設定を行います。

1 ホーム画面で → [設定] → [ユーザー補助]

2 各項目を設定

音量キーのショートカット：音量キーの上と下を同時に約3秒押すことでユーザー補助機能を起動できるようにするかを設定します。また、ショートカットに割り当てるユーザー補助機能を選択できます。

おすすめ使い方ヒント：おすすめ使い方ヒントを利用できるように設定します。

テキスト読み上げの設定：テキスト読み上げに関する設定を行います。

フォントサイズ：文字の大きさを変更します。

表示サイズ：画面に表示されるアイコンなどのサイズを拡大／縮小します。

ダークテーマ：黒背景のテーマに変更します。

拡大：画面を3回タップしたり、ショートカットを利用したりして表示を拡大できるようにするかを設定します。


色補正：色補正機能に関する設定をします。

色反転：色を反転させるかを設定します。

大きなマウスポインタ：マウス使用時のポインタを大きくするかを設定します。

アニメーションの削除：画面のアニメーション表示を無効にするかを設定します。

停止時間：マウス使用時にポインタが停止したらクリック操作を行うようにするかを設定します。

電源ボタンで通話を終了：（電源キー）を押すと通話を終了できるようにするかを設定します。

画面の自動回転：本端末の向きに合わせて画面を回転させるかを設定します。

• 表示中の画面によっては、本端末の向きを変えても画面表示が切り替わらない場合があります。

長押しする時間：ロングタッチを感知する時間を設定します。

操作までの時間（ユーザー補助タイムアウト）：操作の実行を求めるメッセージを表示する時間を設定します。

バイブレーションと触覚フィードバックの強さ：着信時や通知時、タップ操作時のバイブレーションのON/OFFを設定します。

• アプリによってはOFFに設定してもバイブレーションが無効にならない場合があります。



モノラル音声：音声をモノラル再生するかを設定します。

オーディオバランス：左右のオーディオバランスを設定します。

字幕の設定：字幕を表示するかを設定したり、字幕の言語や文字の大きさなどを設定したりします。

高コントラストテキスト：テキストのコントラストを高くするかを設定します。

✓お知らせ

- [電源ボタンで通話を終了] をONに設定しているとき、通話中にスリープモードになった場合は、（電源キー）を押してスリープモードを解除してから（電源キー）を押すと、通話を終了できます。

arrowsオススメ機能

スライドイン機能や歩数計などの設定を行います。

- 1 ホーム画面で ⊕ →[設定]→[arrowsオススメ機能]
- 2 各項目を設定
FASTメモ：設定方法→P147
FASTショッピング：設定方法→P61
FAST ARサイズチェッカー：設定方法→P106
FAST フィンガーランチャー：設定方法→P142
FAST Appドライブ：設定方法→P147
FAST シェア：設定方法→P114
ゲームゾーン：設定方法→P147
スライドイン機能：設定方法→P148
Super ATOK ULTIAS：設定方法→P52
はっきり文字：文字やアイコンのサイズを自動で調整し、いつもはっきり見えるように設定します。
歩数計：設定方法→P148
持ってる間ON：端末を手に持って動きのある間は画面を点灯し続けるかを設定します。

✓お知らせ-----

- オススメ機能を約1か月使用していない場合、アプリ一覧画面の [設定] アイコンや設定メニュー一覧の [arrowsオススメ機能] の各アイコンの右上にドット (点) が表示されることがあります。ドットを消去するには、ホーム画面で ⊕ →[設定]→[arrowsオススメ機能]→該当の機能をタップします。

◆FASTメモ

本端末の操作中や、ロック画面からすばやくメモ (テキスト・音声) や写真をとることができます。アイコンをロック画面に表示するかの設定を行います。

- 1 ホーム画面で ⊕ →[設定]→[arrowsオススメ機能]→[FASTメモ]
- 2 [FASTメモの起動]
- 3 [使用する (右端に表示)] / [使用する (左端に表示)] / [使用しない]

◆FAST Appドライブ

よく使うアプリを登録することで、アプリをすばやく起動することができます。

- 1 ホーム画面で ⊕ →[設定]→[arrowsオススメ機能]→[FAST Appドライブ]
- 2 ⊕ →登録するアプリを選択
 - アプリをタップすると、アプリの終了、登録の解除、アプリの変更ができます。

◆ゲームゾーン

快適にゲームをプレイするための各種設定ができます。

- 1 ホーム画面で ⊕ →[設定]→[arrowsオススメ機能]→[ゲームゾーン]
- 2 [ゲーム共通設定]→[ゲームチューニング]
- 3 必要に応じて各項目を設定

共通クイック設定: ゲーム中の通知のON/OFF、パフォーマンス性能の切り替え、ナビゲーションバーのロックをタップですばやく設定できます。


ゲームチューニング: パフォーマンス性能や画面の明るさ、ゲーム起動時のメモリ解放などを設定します。

フォーカス設定: ゲーム中の着信音や通知、ナビゲーションバーのロックなどを設定します。

録画設定: ゲーム起動時に自動録画するかや、録画の解像度などを設定します。


録画保存設定: 録画時にゲーム音・映像とマイク音の保存方法を設定します。

✓お知らせ

-  をタップすると、ゲームチューニングのON/OFFを切り替えることができます。
- [ゲーム管理] をタップすると、お好みのゲームをランチャーに追加できます。ゲーム別にチューニングを変えることもできます。
- 手順2で [ファイル・ツール] をタップすると、ゲームの録画ファイルやスクリーンショットを確認したり、ゲーム実況アプリを利用したりできます。
- お使いのアプリによっては録画が正常に動作しなかったり、アプリの動作に影響を与えたりする場合があります。

◆ スライドイン機能

画面の端から指をスライドさせて、表示されたランチャーからアプリを起動したり、画面をキャプチャしたり、画面を指でなぞって文字をコピーしたりできるように設定します。

- 1 ホーム画面で  → [設定] → [arrowsオススメ機能] → [スライドイン機能]

2 [スライドイン機能]をONにする

3 各項目を設定

- [機能説明] をタップすると、スライドインランチャー、キャプメモ、なぞってコピーの使いかたを確認できます。

✓お知らせ

- スライドイン機能は縦画面表示で使用できます。
- ランチャーに登録したアプリが更新された場合、登録が解除されることがあります。

◆ 歩数計

歩数のカウントを開始するかを設定します。

- [歩数計利用] をONにすると、歩数情報を利用するアプリやウィジェットが使用できるようになります。
- [自分から設定] で身長と体重を設定すると、より正確な歩数情報が取得できます。→P145

1 ホーム画面で → [設定] → [arrowsオススメ機能] → [歩数計]

2 [歩数計利用]をONにする

- 全履歴の削除:** [歩数計の全履歴削除] → [実行] → [はい]
- カウント中の歩数も含め、履歴がすべて削除されません。

❖ 歩数計ご使用時の注意事項

- 歩数を正確にカウントするためには、正しく装着して（キャリングケースに入れて腰のベルトなどに装着する、かばんに入れるときは固定できるポケットや仕切りの中に入れる）毎分100～120歩程度の速さで歩くことをおすすめします。
- 正しく装着していても、手や足など身体の一部のみが動作しているなど歩行が本端末に伝わらない状態では、歩数のカウントが正確に行われなことがあります。
- 次の場合は歩数が正確にカウントされないことがあります。
 - 本端末を入れたかばんが足や腰に当たって不規則に動くときや、本端末を腰やかばんにぶら下げたとき
 - すり足のような歩きかたや、サンダル、下駄、草履などを履いて不規則な歩行をしたとき、混雑した場所を歩くなど歩行が乱れたとき
 - 立ったり座ったり、階段や急斜面の昇り降りをしたり、乗り物（自転車、車、電車、バスなど）に乗車したりなど、上下運動や振動、横揺れが多いとき
 - 歩行以外のスポーツを行ったときや、ジョギングをしたとき、極端にゆっくり歩いたとき
- 本端末に振動や揺れが加わっているときは、歩数のカウントが正確に行われなことがあります。

✓お知らせ

- 誤カウントを防ぐために歩行を始めたかを判断しているため、歩き始めは数値が変わりません。目安として4秒程度歩くところまでの歩数が加算されます。
- カウントした歩数は約60分ごとに保存されます。ただし、当日カウントされない歩数については、翌日補正されます。

- 歩数のカウントが更新されない場合は、画面を表示し直すと反映されます。
- 歩数の情報は本端末の故障、修理やその他の取り扱いによって消失してしまう場合があります。万が一、消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

Digital Wellbeing と保護者による使用制限

本端末の利用時間などを確認したり、1日に利用できる最大時間をアプリごとに設定したりして、使い過ぎを抑えることができます。

- 1 ホーム画面で **田** → [設定] → [Digital Wellbeing と保護者による使用制限]
- 2 各項目を設定

Google

Google のアカウントおよびサービスに関する、情報や設定の確認／変更／削除などができます。

- Google 設定の詳細については、Google の設定画面で **田** をタップしてヘルプをご覧ください。

- 1 ホーム画面で **田** → [設定] → [Google]
Google の設定画面が表示されます。
- 2 各項目を設定

言語と入力

本端末で使用する言語を変更したり、表示フォントや文字の大きさを変更したりします。

1 ホーム画面で Ⓜ →[設定]→[システム]→[言語と入力]

2 各項目を設定

言語：設定方法→P150

仮想キーボード：設定方法→P52、P151

• [キーボードを管理] をタップすると、キーボードの変更画面に表示するキーボードを設定できます。

物理キーボード：本端末にキーボードを接続したときの設定をします。→P54

スペルチェック※：スペルチェックを行うかを設定します。

自動入力サービス※：自動入力サービスを利用するかを設定します。

単語リスト※：スペルチェックアプリなどで使われる単語を追加します。

ポインタの速度※：マウスやトラックパッド使用時のポインタの速度を設定します。

テキスト読み上げの設定※：テキスト読み上げに関する設定を行います。

※ [詳細設定] をタップすると表示されます。

◆ 英語表示に切り替え

利用する言語を英語に変更します。

1 ホーム画面で Ⓜ →[設定]→[システム]→[言語と入力]→[言語]

2 [言語を追加]→[English (United States)]の=を最上段([1]の位置)までドラッグ

✓お知らせ

- アプリによっては英語表示されません。
- 日本語表示に戻す場合は次の操作を行います。
ホーム画面で Ⓜ →[Settings]→[System]→[Languages & input]→[Languages]→[日本語(日本)]の=を最上段([1]の位置)までドラッグ

◆ 音声検索の設定

Google 音声検索の機能を設定します。

1 ホーム画面で \square →[設定]→[システム]→[言語と入力]→[仮想キーボード]→[Google音声入力]

2 各項目を設定

言語：Google 音声検索時に使用する言語を設定します。

音声による検索結果：検索結果を音声で出力する条件を設定します。

オフラインの音声認識：言語を追加でダウンロードして、オフライン状態でも音声認識を使えるように設定します。

不適切な語句を表示しない：不適切な結果を表示しないようにするかを設定します。

Voice Match：「OK Google」と発声して音声検索を開始できるように設定します。

Bluetoothでの録音：使用可能なBluetooth機器が接続されている場合、Bluetooth機器からの音声録音を有効にするかを設定します。

デバイスロック時にBluetoothのリクエストを許可：本端末がロックされている状態でも、Bluetooth機器を使用して音声操作ができるようにするかを設定します。

デバイスロック時に有線ヘッドセットのリクエストを許可：本端末がロックされている状態でも、本端末に接続した機器を使用して音声操作ができるようにするかを設定します。

動作

本端末を動かすことによって機能を操作できるように設定します。

1 ホーム画面で \square →[設定]→[システム]→[動作]

2 各項目を設定

カメラの起動： \square （電源キー）を2回押すとカメラを起動するように設定します。ONにすると、どの画面からでもカメラを起動できるようになります。

システム ナビゲーション：画面をスワイプすることで各種操作を行う「ジェスチャー ナビゲーション」と、ナビゲーションバーにバックアイコン、ホームアイコン、履歴アイコンを表示させる「3ボタン ナビゲーション」を選択できます。

画面端のタッチ感度：画面の端付近のタッチ操作の感度を設定します。

着信音を停止： \square （電源キー）と音量キーの上を同時に押すことで、着信音や通知音を鳴らさないようにするかを設定します。

- [バイブレーション]にすると、着信や通知があったときに振動します。[ミュート]に設定すると、着信や通知があっても音や振動は鳴動しません。
- マナーモード中は設定できません。

日付と時刻

日付と時刻に関する設定を行います。

- [ネットワークの時刻を使用する] / [タイムゾーンを自動設定] / [言語/地域のデフォルトを使用する] を OFF にすると、日付と時刻、タイムゾーン、24時間表示を手動で設定できます。

1 ホーム画面で **[設定]** → **[システム]** → **[日付と時刻]**

2 各項目を設定

ネットワークの時刻を使用する：ネットワーク上の日付・時刻情報を使って自動的に補正するかを設定します。

日付：日付を手動で設定します。

時刻：時刻を手動で設定します。

タイムゾーンを自動設定：ネットワーク上のタイムゾーン情報を使って自動的に補正するかを設定します。

タイムゾーン：タイムゾーンを手動で設定します。

言語/地域のデフォルトを使用する：[言語] の設定に従って24時間表示を自動的に切り替えるかを設定します。

24時間表示：24時間表示を手動で設定します。

バックアップ

アプリのデータや本端末の設定などを Google ドライブにバックアップするかを設定します。

- 1** ホーム画面で **[設定]** → **[システム]** → **[バックアップ]**
- 2** [Google ドライブへのバックアップ] を ON にする
- 3** [アカウント] → バックアップアカウントを選択

リセット オプション

本端末のネットワーク設定やアプリの設定をリセットしたり、本端末を初期化したりします。

- 1** ホーム画面で **[設定]** → **[システム]** → **[詳細設定]** → **[リセット オプション]**
- 2** 各項目を設定
Wi-Fi、モバイル、Bluetoothをリセット：Wi-Fi、モバイルデータ通信、Bluetoothの設定をリセットします。
アプリの設定をリセット：アプリの無効化、デフォルトのアプリ、アプリの権限などをリセットします。
すべてのデータを消去 (出荷時リセット)：設定方法 → P153

◆ 本端末の初期化

本端末を初期化すると、お客様がインストールしたアプリや登録したデータは、一部を除き削除されます。

- microSDカードのデータ消去については「microSDカードのデータ消去（フォーマット）」をご覧ください。→P138

1 ホーム画面で \oplus →[設定]→[システム]→[詳細設定]→[リセット オプション]

2 [すべてのデータを消去(出荷時リセット)]
→[すべてのデータを消去]

- 認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定している場合は、認証操作が必要です。

3 [すべてのデータを消去]

リセットが完了してしばらくたつと、本端末が再起動します。

- 初期化中に電源を切らないでください。

✓お知らせ

- 初期化後、タッチ操作が正しく動作しない場合などは、電源を入れ直してください。

診断データ送信

詳細な診断データを提供し、端末の品質向上に役立てます。

1 ホーム画面で \oplus →[設定]→[システム]→[詳細設定]→[診断データ送信]

2 [診断データ送信]をONにする→内容を確認して[同意する]

デバイス情報

電話番号や Android™ のバージョンなど、本端末に関する各種情報を表示します。

1 ホーム画面で \oplus →[設定]→[デバイス情報]

2 項目を確認

デバイス名：本端末の名前を設定します。

電話番号：自分の電話番号が表示されます。

緊急時情報：緊急時の初期対応に役立てられる血液型などの情報や、緊急時の連絡先を登録します。

法的情報：サードパーティ ライセンスや Google 利用規約などに関する詳細を表示します。

規制ラベル：技適マークや無線LAN (Wi-Fi) 周波数帯など、各規制に関する詳細を表示します。

SIMのステータス：SIMカード内の情報（ネットワーク名や電話番号など）を表示します。

モデルとハードウェア / IMEI / Android バージョン / IPアドレス / Wi-Fi MACアドレス / Bluetoothアドレス / 稼働時間 / ビルド番号：各バージョンや番号などを表示します。

ファイル管理

本体（内部ストレージ）

お買い上げ時の本体メモリ（/storage/emulated/0/）のフォルダ構成と、各フォルダに保存されるデータは次のとおりです。

Alarms	アラーム音
Android	インストールしたアプリの一時ファイルなど
DCIM	カメラで撮影した静止画／動画など
Download	ブラウザなどでダウンロードしたファイル
Movies	動画（カメラで撮影した動画を除く）
Music	音楽ファイル
Notifications	通知音
Pictures	静止画（カメラで撮影した静止画を除く）
Podcasts	Podcast（インターネット経由で配信される番組など）のファイル
Ringtones	着信音

microSDカード（外部ストレージ）

本端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを本端末に取り込んだりできません。

- microSDカードについては、「microSDカード」をご覧ください。→P37

ファイル操作

本端末の本体メモリやmicroSDカードに保存されたデータの管理（フォルダ・ファイル名の変更／削除／コピー／移動など）ができます。

1 ホーム画面で \boxplus →[Files]

2 [見る]→カテゴリまたはストレージデバイスのフォルダ／ファイルをタップ

- 三をタップすると、設定を変更したり、ヘルプを確認したりすることができます。
- [削除] をタップすると、使用していないアプリを削除して、空き容量を増やすことができます。
- [共有] をタップすると、友達とファイルを共有することができます。

3 目的の操作を行う

- ファイルをタップすると、ファイルの表示／再生ができます。
- 各カテゴリまたはストレージデバイスをタップ→ファイルのサムネイルをロングタッチ（サムネイル表示の場合）するか、ファイル名の右にある▼をタップ（リスト表示の場合）すると、ファイルの共有や削除、移動やコピー、ファイル名の変更などの操作ができます。

Bluetooth®通信

◆ Bluetooth機能の利用

本端末とBluetooth機器を接続してワイヤレスで通信したり、音声や音楽などを再生したりします。

- Bluetooth接続を行うと電池の消費が早くなりますのでご注意ください。
- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。

✓お知らせ

- 対応バージョン、プロファイルなどについては「主な仕様」をご覧ください。→P182
- Bluetooth機器のご使用にあたっては、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

❖ Bluetooth機能取り扱い上のご注意

- 他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。本端末とBluetooth機器の間に障害物がある場合や周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。
- 電気製品／AV機器／OA機器などからなるべく離して接続してください。電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください。他の機器の電源が入っているときは正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります。
- 放送局や無線機などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
- Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、電車内、航空機内、病院内、自動ドアや火災報知器から近い場所、ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する可能性のある場所では本端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。

❖ 無線LANとの電波干渉について

Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になる場合があります。この場合、無線LANの電源を切るか、本端末やBluetooth機器を無線LANから10m以上離してください。

◆ Bluetooth機能ON / OFF

Bluetooth機能を利用するときは、Bluetooth機能をONに設定してください。利用しないときは、電池の減りを防ぐためOFFに設定してください。

- Bluetooth機能ON / OFFの設定は、電源を切っても変更されません。

- 1 ホーム画面で $\left[\begin{smallmatrix} \text{+} \\ \text{+} \end{smallmatrix} \right]$ →[設定]→[接続済みのデバイス]→[接続の設定]→[Bluetooth]
- 2 画面右上のボタンをタップしてON / OFFを設定

◆ Bluetooth機器との接続

Bluetooth機器を接続します。Bluetooth機器で通話したり、音声や音楽を再生したり、Bluetooth機器とデータを送受信したりすることができます。また、Bluetooth対応キーボードで本端末の文字入力ができます。

- あらかじめBluetooth機器を検出できる状態にしてください。
- 接続中はステータスバーにが表示されます。
- プロファイルがHFP / A2DPの場合、同時に接続できるBluetooth機器は5台です。
- Qualcomm® aptX™  Qualcomm® aptX Adaptive audioおよびaptX Adaptiveを搭載しているBluetooth機器で、aptXおよびaptX Adaptiveオーディオコーデックを利用した音楽再生が可能です。

- 1 ホーム画面で $\left[\begin{smallmatrix} \text{+} \\ \text{+} \end{smallmatrix} \right]$ →[設定]→[接続済みのデバイス]
- 2 [新しいデバイスとペア設定する]

- 3 検出されたBluetooth機器名をタップ→必要に応じてパスコード(PIN)を入力して[OK] / [ペア設定する]


- 他のBluetooth機器から接続要求を受けた場合Bluetoothのペア設定リクエスト画面が表示された場合は、必要に応じてパスコード (PIN) を入力して [OK] / [ペア設定する] をタップしてください。

◆ Bluetooth機器とのデータ送受信

「フォト」アプリ (→P107) や電話帳などのデータを送信したり、Bluetooth機器からデータを受信したりできません。

- あらかじめBluetooth機器を接続した状態または検出できる状態にしてください。


〈例〉「フォト」アプリのファイルを送信する

- 1 「フォト」アプリを開いて画像をタップ
- 2 →[Bluetooth]→[OK]
- 3 Bluetooth機器名をタップ
通知パネルを開くと送信完了を確認できます。

〈例〉Bluetooth機器からファイルを受信する

1 Bluetooth機器からファイルを送信

2 ファイル着信通知後に通知パネルを開く→「着信ファイル」の[承諾]

- 受信したファイルは、通知パネルを開いて「Bluetooth共有：受信したファイル」の通知をタップするか、ホーム画面で→[設定]→[接続済みのデバイス]→[接続の設定]→[Bluetoothで受信したファイル]をタップしても確認できます。

◆ Bluetooth機器との接続解除

イヤホンマイクやキーボードなどのBluetooth機器を接続中の場合は、次の操作で接続を解除できます。

1 ホーム画面で→[設定]→[接続済みのデバイス]


2 接続中のBluetooth機器名／右側のをタップ→[接続を解除]

- 再接続する場合は、[以前接続されていたデバイス]欄の接続するBluetooth機器名をタップします。

◆ Bluetooth機器とのペアリング解除

1 ホーム画面で→[設定]→[接続済みのデバイス]



2 Bluetooth機器名／右側の→[削除]→[このデバイスとのペア設定を解除]

- Bluetooth機器との接続を解除している場合は、[以前接続されていたデバイス]欄のBluetooth機器名右側の→[削除]→[このデバイスとのペア設定を解除]をタップして解除できます。

◆ Bluetooth機器の名前を変更

1 ホーム画面で→[設定]→[接続済みのデバイス]

2 Bluetooth機器名／右側の→→機器名を入力→[名前を変更]

- Bluetooth機器との接続を解除している場合は、[以前接続されていたデバイス]欄のBluetooth機器名右側の→→機器名を入力→[名前を変更]をタップして変更できます。

NFC通信

NFCとはNear Field Communicationの略で、ISO（国際標準化機構）で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。非接触ICカード機能やReader／Writer機能、P2P機能などが本端末でご利用いただけます。

NFCの機能を利用して、他の対応機器とデータのやりとりができます。

- 対向機にかざす際の注意事項については、「対向機にかざす際の注意事項」をご覧ください。→P111

◆ NFC

NFC機能を搭載した端末との間でデータを送受信できません。

- NFCを利用するには、あらかじめデータ交換を許可する設定を行っておく必要があります。
- [NFC／おサイフケータイ ロック ON／OFF] をONに設定している場合は、画面消灯およびロック画面中にNFCを利用できません。
- 充電中やFMラジオを聴いているときはNFCを利用できません。
- アプリによっては、NFCをご利用になれません。また、送受信できるデータはアプリによって異なります。
- すべてのNFC機能を搭載した端末との通信を保証するものではありません。

- 1 ホーム画面で **+** → [設定] → [接続済みのデバイス] → [接続の設定] → [NFC／おサイフケータイ] をONにする

外部機器接続

パソコンとの接続

◆ 本端末のデータをパソコンから操作

USBケーブル A to C 02 (別売品) で本端末とパソコンを接続すると、本端末の内部ストレージやmicroSDカードのデータをパソコンから操作できます。

- Windows 8.1、Windows 10に対応しています。ただし、すべてのパソコンで動作を保証するものではありません。

1 USBケーブル A to C 02のType-Cプラグを本端末のUSB Type-C接続端子に、USBケーブル A to C 02のUSBプラグをパソコンのUSBコネクタに差し込む

2 USB接続の用途を選択

ファイル転送：MTP対応のファイル管理用ソフトウェアで音楽や動画などを転送できます。

USBデザリング：設定方法→P129

MIDI：本端末をMIDI入力に使用します。

PTP：MTP非対応のパソコンなどに静止画や動画を転送できます。

データ転送なし：充電のみ行います。

3 目的の操作を行う

✓お知らせ

- 本端末でmicroSDカードがマウントされていない場合は、パソコンからmicroSDカードを認識できません。その場合は、ホーム画面で \oplus →[設定]→[ストレージ]→[SDカード]→[マウント]をタップしてからパソコンに接続します。

プリンタとの接続

◆ デフォルト印刷サービスでプリンタを接続

デフォルト印刷サービスではプリンタドライバをインストールすることなく、本端末から印刷することができます。

1 ホーム画面で \oplus →[設定]→[接続済みのデバイス]→[接続の設定]→[印刷]→[デフォルト印刷サービス]

2 画面右上のボタンをタップして[デフォルト印刷サービス]をONにする

対応のプリンタが自動的に検出されます。

- お使いのプリンタが検出されない場合は、 \vdots →[プリンタを追加]をタップして手動でプリンタを追加してください。

◆ 印刷

〈例〉「Chrome」アプリで表示しているWebサイトを印刷する

- 1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→⇒→[共有...]→[Chrome 印刷]

接続したプリンタの印刷設定画面が表示されます。

- 2 各項目を設定

- 部数や用紙サイズなどを設定します。

- 3 印刷を実行

- 画面の指示に従って操作してください。

✓お知らせ-----

- 印刷可能なデータは、使用しているアプリの印刷機能への対応状況により異なります。

その他の機器との接続

◆ DisplayPort/HDMI接続でテレビに表示

本端末とDisplayPort/HDMI端子搭載のテレビを接続して、テレビに動画、画像などを表示します。

- DisplayPort搭載のテレビと接続するには、次のケーブルが必要です。
 - DisplayPortケーブル（市販品）
 - DisplayPort変換アダプタ（市販品）
- HDMI端子搭載のテレビと接続するには、次のケーブルが必要です。
 - HDMIケーブル（市販品）（HDMIプラグ（Type A）に対応したHDMI規格認証品（カテゴリ 2推奨））
 - HDMI変換アダプタ（市販品）

1 DisplayPortケーブルとDisplayPort変換アダプタを接続/HDMIケーブルとHDMI変換アダプタを接続

- DisplayPort変換アダプタ/HDMI変換アダプタの接続方法については、各変換アダプタの取扱説明書をご覧ください。

2 テレビのDisplayPortにDisplayPortケーブルを接続/テレビのHDMI端子にHDMIケーブルを接続

- DisplayPort/HDMI端子への接続方法や入力の切り替え、音量の調整などについては、テレビの取扱説明書をご覧ください。

3 本端末のUSB Type-C接続端子にDisplayPort変換アダプタを接続／本端末のUSB Type-C接続端子にHDMI変換アダプタを接続

- 本端末の電源が入っている状態で接続してください。
- 本端末と接続したテレビがUSB機器として検出され、本端末からテレビへ動画や画像などを出力できるようになります。

✓お知らせ

- すべてのDisplayPort／HDMI端子搭載機器との動作を保証するものではありません。
- 使用するケーブル・変換アダプタによっては、映像・音声が入り正しく出力されないことがあります。動作が確認されている市販品については、富士通のホームページをご覧ください。
 - サポート情報 (docomo製品)
<http://www.fmworld.net/product/phone/support/index.html>
 - DisplayPort関連アクセサリ動作確認済み製品一覧
<http://www.fmworld.net/product/phone/displayportaccessories/>
 - F-52A DisplayPort関連アクセサリ動作確認済み製品
<http://www.fmworld.net/product/phone/displayportaccessories/f-52a/index.html>
- HDCP非対応の機器と接続した場合、映像・音声は正しく出力されません。
- DisplayPort出力開始時、接続するテレビによっては入力が切り替わらず映像が表示されない場合があります。その場合、テレビのリモコンなどで入力を切り替えてください。

- 接続するテレビによっては本端末から出力するデータが画面に収まらない場合があります。その場合、テレビの表示設定を変更してください。
- DisplayPortケーブル／HDMIケーブルを接続中に、DisplayPortケーブル／HDMIケーブルを持って本端末を持ち上げないでください。
- テレビに表示しないときは、DisplayPortケーブル／HDMIケーブルを取り外してください。
- DisplayPort接続利用時には、お客様の利用環境によって電波状態に影響が出る場合があります。
- テレビ表示中にDisplayPortケーブル／HDMIケーブルが抜けた場合は、ケーブルを接続し直してください。

◆ Wi-Fi接続でWi-Fi Miracast対応機器に表示

本端末とWi-Fi Miracast対応機器をWi-Fi接続して、テレビやディスプレイなどに動画、画像などを表示します。

- 1 ホーム画面で田→[設定]→[接続済みのデバイス]→[接続の設定]→[キャスト]
- 2 ∷→[ワイヤレスディスプレイの有効化]にチェックを付ける
- 3 検出されたWi-Fi Miracast対応機器をタップ

Wi-Fi Miracast対応機器と切断：接続済みの機器をタップ→[接続を解除]

✓お知らせ

- HDCP非対応の機器と接続した場合、アプリによっては映像・音声为正しく出力されないことがあります。また、コンテンツによっては、コンテンツプロバイダから外部出力を禁止されていたり、性能上の問題から外部出力が抑止されていたりするものがあります。
- 接続中に電話着信があった場合、着信画面が接続した機器にも表示されます。
- 一部のアプリでは、接続した機器にコンテンツが表示され、本端末で再生などの操作ができます。

海外利用

国際ローミング (WORLD WING) の概要

国際ローミング (WORLD WING) とは、日本国内で使用している電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用になれるサービスです。電話、SMSは設定の変更なくご利用になれます。

国際ローミング (WORLD WING) の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

<https://www.nttdocomo.co.jp/service/world/roaming/>

■ 対応ネットワークについて

本端末はLTEネットワーク、3GネットワークおよびGSM/GPRSネットワークのサービスエリアでご利用になれます。また、3G850MHz/GSM850MHzに対応した国・地域でもご利用になれます。

✓お知らせ

- 国番号/国際電話アクセス番号/ユニバーサルナンバー用国際識別番号/接続可能な国・地域および海外通信事業者は、ドコモのホームページをご確認ください。

海外で利用可能なサービス

主な通信サービス	LTE	3G	3G850	GSM (GPRS)
電話	○	○	○	○
SMS	○	○	○	○
パケット通信*	○	○	○	○

* ローミング時にパケット通信を利用するには、データローミングの設定をONにしてください。→P165

✓お知らせ

- 接続する海外通信事業者やネットワークによりご利用にならないサービスがあります。
- 接続している通信事業者名は、パネルスイッチ (→P58) の画面上部に表示されます。

海外でご利用になる前に

◆ 出発前の確認

海外でご利用になる際は、日本国内で次の確認をしてください。

■ ご契約について

WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 充電について

充電についてはドコモのホームページをご確認ください。

■ 料金について

- 海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は日本国内とは異なります。詳細はドコモのホームページをご確認ください。
- ご利用のアプリによっては自動的に通信を行うものがありますので、パケット通信料が高額になる場合があります。各アプリの動作については、お客様ご自身でアプリ提供元にご確認ください。

◆ 事前設定

■ ネットワークサービスの設定について

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス、転送でんわサービス、番号通知お願ひサービスなどのネットワークサービスをご利用になれます。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれません。

- 海外でネットワークサービスをご利用になるには、「遠隔操作設定」を開始する必要があります。渡航先で「遠隔操作設定」を行うこともできます。日本国内から（→P82）、海外から（→P169）
- 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

◆ 滞在国での確認

海外に到着後、本端末の電源を入れると、自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

■ 接続について

ホーム画面で☰→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[モバイル ネットワーク]→[詳細設定]をタップして、[ネットワークを自動的に選択]をONにしている場合は、最適なネットワークを自動的に選択します。

◆ 海外で利用するための設定

- SIMロックを解除して他社のSIMカードを使用しデータ通信を行う場合は、アクセスポイント（APN）を設定してから操作してください。→P126

◆ データローミングの設定

海外でパケット通信を行うためには、データローミングの設定をONにする必要があります。

- 1 ホーム画面で☰→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[モバイル ネットワーク]
- 2 [データローミング]→注意画面の内容を確認して[OK]

❖ 通信事業者の設定

お買い上げ時は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

1 ホーム画面で **+** → [設定] → [ネットワークとインターネット] → [モバイル ネットワーク] → [詳細設定]

2 [ネットワークを自動的に選択] をOFFにする

利用可能なネットワークを検索して表示します。

- ネットワーク検索でエラーが発生する場合は、[モバイルデータ] (パケット通信) をOFFにしてから再度実行してください。→P126

3 通信事業者のネットワークを選択

✓お知らせ

- 自動でネットワークを切り替える場合は、手順2で [ネットワークを自動的に選択] をONにしてください。

❖ 優先ネットワークの設定

1 ホーム画面で **+** → [設定] → [ネットワークとインターネット] → [モバイル ネットワーク] → [詳細設定] → [優先ネットワークの種類]

2 [5G/4G/3G/GSM] / [4G/3G/GSM] / [3G/GSM] / [GSM]

✓お知らせ

- 優先ネットワークの種類を自動的に設定する場合は、手順2で [5G/4G/3G/GSM] をタップしてください。

❖ 日付と時刻

[日付と時刻] の [ネットワークの時刻を使用する]、[タイムゾーンを自動設定] をONにしている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われなかった場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- 「日付と時刻」 → P152

❖ お問い合わせについて

- 本端末やドコモnanoUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、本書巻末をご覧ください。My docomoからも利用中断の手続きは可能です。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

滞在先で電話をかける／受ける

◆ 滞在国外（日本含む）に電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、滞在国から他の国へ電話をかけることができます。

- 先頭に「+」を付けてから相手の国番号と電話番号を入力すると、滞在先から日本、または他の国へ簡単に国際電話をかけることができます。
- 接続可能な国および通信事業者などの情報については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 ホーム画面で☎

2 ④→+(「0」をロングタッチ)→国番号、地域番号(市外局番)、相手先電話番号の順に入力

- 地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合には、先頭の「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要になる場合があります。
- 電話をかける相手が海外でのWORLD WING利用者の場合は、滞在国内外に関わらず国番号として「81」(日本)を入力してください。

3 ☎

4 通話が終了したら📞

◆ 滞在国内に電話をかける

日本国内で電話をかける操作と同様に、相手の一般電話や携帯電話の番号を入力するだけで電話をかけることができます。

1 ホーム画面で☎

2 ④→電話番号を入力

- 一般電話にかける場合は、地域番号(市外局番)、相手先電話番号の順に入力します。

3 ☎

- 「国際ダイヤルアシスト」画面が表示された場合は[元の番号で発信]をタップします。

4 通話が終了したら📞

◆ 海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

相手が国際ローミング中の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として電話をかけてください。

- 滞在先にかかわらず日本経由での通信となるため、日本への国際電話と同じようにダイヤルしてください。
+ (「0」をロングタッチ) -81 (日本の国番号) -先頭の「0」を除いた電話番号

◆ 滞在先で電話を受ける

海外でも日本にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

✓お知らせ

- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通信料がかかり、着信側には着信料がかかります。

◆ 相手からの電話のかけかた

■ 日本国内から滞在先に電話をかけてもらう場合

日本国内の一般電話、携帯電話から滞在先の本端末に電話をかけてもらう場合は、日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルしてもらうだけで電話をかけることができます。



■ 日本以外から滞在先に電話をかけてもらう場合

滞在先に関わらず日本経由で電話をかけるため、発信国の国際電話アクセス番号および「81」（日本の国番号）をダイヤルしてもらう必要があります。
発信国の国際電話アクセス番号-81-90（または80、70）-XXXX-XXXX

国際ローミングの設定

国際ローミングサービスを利用するときの設定を行います。

- 海外通信事業者によっては設定できない場合があります。

1 ホーム画面で  →  → [設定] → [通話] → [ドコモの設定] → [ネットワークサービス・海外設定] → [海外設定]

2 各項目を設定

ローミング時着信規制：国際ローミング中に着信を規制することができます。

ローミング着信通知：国際ローミング中に圏外などで着信できなかった場合にSMSでお知らせします。

ローミングガイドランス：国際ローミング中に電話をかけてきた相手に、国際ローミング中であることをお知らせするガイドランスを流すことができます。

ネットワークサービス：設定方法→P168

◆ ネットワークサービス（海外）の設定

滞在国で利用する留守番電話サービスなどのネットワークサービスを設定します。

- あらかじめ「遠隔操作設定」を開始にする必要があります。→P82
- 海外から操作した場合は、滞在国から日本までの通話料がかかります。
- 海外通信事業者によっては設定できない場合があります。

帰国後の確認

日本に帰国後は渡航前の設定に戻してください。

■ 海外でパケット通信を利用した場合

[モバイル ネットワーク] の [データローミング] をOFFに設定します。→P165

■ 帰国後に自動的にドコモのネットワークに接続できない場合

- [モバイル ネットワーク] で [優先ネットワークの種類] を [5G/4G/3G/GSM] に設定します。→P166
- [モバイル ネットワーク] の [詳細設定] で [ネットワークを自動的に選択] をONにします。→P166

1 ホーム画面で☎→⋮→[設定]→[通話]→[ドコモの設定]→[ネットワークサービス・海外設定]→[海外設定]→[ネットワークサービス]

2 サービスを選択

遠隔操作 (有料)：遠隔操作を開始するかを設定します。

番号通知お願いサービス (有料)：発信者番号が非通知の電話がかかってきた場合に発信者に番号通知を依頼するガイダンスを流します。

ローミング着信通知 (有料)：設定方法→P168

ローミングガイダンス (有料)：設定方法→P168

留守番電話サービス (有料)：電波が届かないところにいたり、電源を切っている場合などに電話をかけてきた方の伝言メッセージをお預かりします。(お申し込みが必要)

転送でんわサービス (有料)：かかってきた電話を、あらかじめ登録した他の携帯電話などに転送することができます。(お申し込みが必要)

3 画面の指示に従って操作

4 音声ガイダンスに従って操作

トラブルシューティング (FAQ)

◆ 故障かな?と思ったら

- 故障かな?と思ったらときに、お客様ご自身で診断することができます。
詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。
- ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。→P176
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、本書巻末の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源・充電

● 本端末の電源が入らない

電池切れになっていませんか。→P39

● 画面が動かない/電源が切れない

- 画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に Ⓚ (電源キー) と音量キーの下を同時に8秒以上押し、画面が消灯した後に指を離すと強制的に電源を切ることができます。
- Ⓚ (電源キー) と音量キーの下を同時に32秒以上押し、起動画面が表示された後に指を離すと強制的に再起動させることができます。

※ 強制的に電源を切ったり、再起動させたりする操作のため、データおよび設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

● 充電ができない

- アダプタの電源プラグがコンセントまたはアクセサリソケットに正しく差し込まれていますか。
- アダプタと本端末が正しくセットされていますか。
→P40
- ACアダプタ (別売品) をご使用の場合、ACアダプタのType-Cプラグが本端末に正しく接続されていますか。→P40
- 本端末をパソコンでUSB接続して充電を行っている場合、パソコンの電源が入っていますか。
- 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行くと、本端末の温度が上昇することがあります。温度が高い状態では安全のために充電を停止しているため、ご使用後に本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

■ 端末操作・画面

● タップしたり、キーを押したりしても動作しない

- 電源が切れていませんか。→P41
- スリープモードになっていませんか。 Ⓚ (電源キー) を押して解除してください。→P42


● 電池の使用時間が短い


- 複数のアプリを起動していると、電池の消費が増えて使用時間が短くなる場合があります。次の方法で使用していないアプリを終了してください。
- 実行中のアプリを終了→P61
- 電池の消費を抑える設定などarrowsについてのFAQや便利な使いかたについては、arrows lifeをご覧ください。

- 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるような電波を探すため、より多くの電力を消費しています。圏外が続く場所では【機内モード】をONにするか、電源を切ってください。→P41、P129
- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。
- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電してもお買い上げ時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、本書巻末の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- フル充電時の充電量を85%に抑えることにより、内蔵電池の寿命を伸ばすことができます。→P133
- Wi-Fi機能やBluetooth機能を使用していないときは、OFFに設定してください。→P123、P157
- **ドコモnanoUIMカードが認識されない**
ドコモnanoUIMカードを正しい向きで取り付けていますか。→P35
- **タッチパネルをタップしたとき／キーを押したときの画面の反応が遅い**
本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。
- **操作中・充電中に熱くなる**
操作中や充電中、また、充電しながら電話や動画の視聴などを長時間行った場合などには、本端末や内蔵電池、アダプタが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。
- **操作中・充電中に熱くなり、機能が利用できない**
本端末の温度が高い状態が続く場合は、充電またはご使用中の一部機能を利用できないことがあります。
- **端末が熱くなり、電源が切れる**
複数のアプリの起動、カメラの使用やインターネット接続などを長時間行った場合など、本端末の温度が高い状態が続く場合は、充電や機能が停止したり、画面の明るさを調整したりすることがあります。また、やけどを防ぐため本端末の電源が切れることがあります。
- **ディスプレイが暗い**
 - 次の設定を変更していませんか。
 - 画面の明るさ→P135
 - 画面消灯→P135
 - バッテリーセーバー→P134
 - 本端末の温度が高い状態が続く場合は、ディスプレイが暗くなることがあります。
- **ディスプレイがちらつく**
【明るさの自動調節】をONにしていると、ディスプレイの照明が周囲の明るさによって自動的に変更されたとき、ちらついて見える場合があります。→P134
- **ディスプレイに残像が残る**
しばらく同じ画面を表示していると、何か操作して画面が切り替わったとき、前の画面表示の残像が残る場合があります。
- **時計がずれる**
長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。【日付と時刻】の【ネットワークの時刻を使用する】／【タイムゾーンを自動設定】がONになっていることを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。→P152

● 端末動作が不安定

- ・お買い上げ後に端末へインストールしたアプリにより不安定になっている可能性があります。セーフモード（お買い上げ時に近い状態で起動させる機能）で起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。次のどちらかの方法でセーフモードを起動してください。

- 電源が入っている状態で、（電源キー）を押す（1秒以上）→ [電源を切る] / [再起動] をロングタッチ→ [OK]

- 電源を切った状態で（電源キー）を2秒以上押し、docomoのロゴ表示が消えたらすぐに音量キーの下を押し続ける

セーフモードが起動すると画面左下に「セーフモード」と表示されます。セーフモードを終了させるには、電源を入れ直してください。

- ※ 事前に必要なデータをバックアップしてからセーフモードをご利用ください。
- ※ セーフモードは通常の起動状態ではありません。通常ご利用になる場合にはセーフモードを終了し、ご利用ください。
- ※ アプリやウィジェットによっては非表示になる場合があります。

● タップしても正しく操作できない

- ・爪の先で操作したり、異物をタッチパネルに乗せたままでも操作したりしていませんか。
- ・ディスプレイに保護シートやシールなどを貼っていませんか。保護シートの種類によっては、正しく操作できない場合があります。
- ・タッチパネルが濡れたままで操作したり、指が汗や水などで濡れた状態で操作したりしていませんか。

- ・水中で操作していませんか。
- ・指で直接タッチパネルに触れて操作してください。

● 本端末の動作が遅くなった／アプリの動作が不安定になった／一部のアプリを起動できない

本端末のメモリの空き容量が少なくなると動作が安定しません。空き容量が少ない旨のメッセージが表示された場合は、不要なアプリを削除してください。→ P109、P132

● アプリが正しく動作しない（アプリが起動できない／エラーが頻繁に起こる）

無効化されているアプリはありませんか。無効化されているアプリを有効にしてから、再度操作してください。→P132

● データが正常に表示されない／タッチパネルを正しく操作できない

電源を入れ直してください。→P41

■ 通話・音声


● をタップしても発信できない

機内モードを設定していませんか。→P129

● 通話中、相手の声が聞こえにくい／相手の声が大きすぎる

- ・通話音量を調節してください。→P80
- ・[はっきりボイス] をONにすると相手の声が聞き取りやすくなります。→P80

● 通話ができない（場所を移動しても の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）

- ・電源を入れ直すか、ドコモnanoUIMカードを取り付け直してください。→P35、P41
- ・電波の性質により「圏外ではない」「電波状態は」を表示している状態でも、発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。

- ・着信拒否設定など着信制限を設定していませんか。
→P83
- ・[優先ネットワークの種類] (5G/4G/3G/GSM) を変更していませんか。→P166
- ・電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

● 着信音が鳴らない

- ・[着信音の音量] を0にしていますか。→P136
- ・次の機能を起動していませんか。
 - マナーモード→P137
 - 機内モード→P129
- ・着信拒否設定など着信制限を設定していませんか。
→P83
- ・次の設定を0秒にしていますか。
 - 伝言メモの[着信呼出設定] →P82
 - 留守番電話サービスの[呼出時間設定] →P82
 - 転送でんわサービスの[呼出時間] →P82

● 電話が繋がらない

- ・ドコモnanoUIMカードを正しい向きで取り付けていますか。→P35
- ・市外局番から入力していますか。
- ・機内モードを設定していませんか。→P129


■ カメラ

● カメラで撮影した静止画や動画がぼやける

カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。

■ おサイフケータイ

● おサイフケータイが使えない

- ・[NFC/おサイフケータイ] がOFFになっていませんか。→P159
- ・NFC/おサイフケータイ ロックを設定していませんか。→P112
- ・本端末のマークがある位置を読み取り機にかざしていますか。→P110、P111
- ・おまかせロックを設定するとステータスバーにが表示され、NFC/おサイフケータイ ロックの設定に関わらずおサイフケータイの機能が利用できなくなります。

■ 海外利用

● 海外で、が表示されているのに本端末が使えない

WORLD WINGのお申し込みをされていますか。WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。

● 海外で、が表示され本端末が使えない

- ・国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、ドコモのホームページをご覧ください。
- ・[優先ネットワークの種類] を [5G/4G/3G/GSM] に変更してください。→P166
- ・[モバイル ネットワーク] の [ネットワークを自動的に選択] をONに設定してください。→P166
- ・本端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。→P41

● 海外で利用中に、突然本端末が使えなくなった

利用停止目安額を超えていませんか。国際ローミング(WORLD WING)のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。

● **海外で電話がかかってこない**

ローミング時着信規制を [規制開始] にしていませんか。→P168

● **相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない**

相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、本端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

● **海外でデータ通信ができない**

データローミングの設定を確認してください。→P165

■ **データ管理**

● **microSDカードに保存したデータが表示されない**
microSDカードを取り付け直してください。→P38

● **データ転送が行われない**

USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

● **画像が表示されない**

画像データが壊れている場合は、画像が表示されません。「Files」アプリなどから開くと、黒い画面が表示される場合があります。

■ **Bluetooth機能**

● **Bluetooth通信対応機器と接続ができない／サーチしても見つからない**

Bluetooth通信対応機器（市販品）側を検出できる状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して、再度機器登録を行う場合には本端末とBluetooth通信対応機器（市販品）の両方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。→P157、P158

● **カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本端末から発信できない**

相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

■ **その他**

● **USBマストレージに保存したデータが表示されない**

USBマストレージを取り付け直してください。

● **市販の外部機器（USBマウス、キーボードなど）が認識されない**

・ Type-C用変換アダプタ（市販品）を使用している場合は、Type-C用変換アダプタと外部機器を接続後、本端末に接続してください。

※ 市販品のすべてを保証するものではありません。HOST機能（OTG機能）対応と記載があるものをご使用ください。

◆ エラーメッセージ

● 空き容量低下

端末の空き容量が低下しています。このままご使用になられると一部機能やアプリケーションが動作しない場合があります。

設定画面を起動して不要なアプリを選択し、「アンインストール」を押してアプリを削除してください。

端末の空き容量が低下している場合に表示されます。[設定画面] をタップして不要なアプリを削除してください。また、実行中のアプリを終了したり、アプリのキャッシュを消去したりすることで、端末の空き容量を増やすことができます。→P61、P132

● 指紋ハードウェアは使用できません

指紋センサーが正常に動作できない場合に表示されます。電源を入れ直しても指紋センサーが利用できなくなった場合は、お近くのドコモショップなど窓口までお問い合わせください。

● 音声サービスと緊急通報のブロック/音声通話サービス停止/緊急通報のブロック/モバイルデータサービスのブロック

音声回線/パケット通信設備が故障、または音声回線ネットワーク/パケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

● SIMは使用できません。携帯通信会社にお問い合わせください。

ドコモnanoUIMカードのPINロック解除コード(PUK)の入力に10回連続して間違えた場合に表示されます。ドコモショップなど窓口までお問い合わせください。→P45

● SIMカードなし

ドコモnanoUIMカードが正しく取り付けられているかを確認してください。→P35

● SIMカードはロックされています

PINコードを有効にしているときに電源を入れると表示されます。正しいPINコードを入力してください。→P46

● SIMカードはPUKでロックされています

ドコモnanoUIMカードがPINロック解除コード(PUK)でロックされているときに表示されます。正しいPINロック解除コード(PUK)を入力してください。→P46

● SIM card 異常

SIMカードが取り外されました。

端末を再起動します。

SIMカード取付時はトレイ(Tray)をご使用ください。

ドコモnanoUIMカードのICが汚れなどで正常に読み込めないときや、電源が入っている状態でドコモnanoUIMカードを取り外したときに表示されることがありますが、故障ではありません。ドコモnanoUIMカードのICは定期的に清掃してください。また、電源が入っている状態ではドコモnanoUIMカードを取り外さないでください。正常に動作しなくなる場合があります。

● SD Card 異常

SDカードが取り外されました。

データの損失を防ぐため、端末の電源を切ってからSDカードを抜いて下さい。

電源が入っている状態ではmicroSDカードを取り外さないでください。データが破損したり、正常に動作しなくなったりする場合があります。

- **ダウンロード処理中にエラーが発生しました。**
同じ理由のエラーが複数回表示される場合は、本端末を再起動の上、再度アップデートを実行してください。
- **充電異常を検知したため充電を停止しました。接続している機器やケーブルがある場合は抜いてください。**
ACアダプタの異常などにより電圧が低下している可能性があります。接続しているACアダプタや機器のケーブルを抜いてください。

ソフトウェアアップデート

◆ ソフトウェアアップデートについて

ソフトウェアアップデート※とは、本端末をより安全で快適にご利用いただくためにソフトウェアの更新を行う機能です。以下の内容が含まれますので、必ず最新ソフトウェアへのアップデートをお願いいたします。

※本端末ではシステムアップデートと表示されます。

ソフトウェアアップデートの種類としては以下の4つがあります。

■ Android OS バージョンアップ

Android OS およびプリインストールされているアプリや端末機能のバージョンアップを行うことで、機能・操作性・品質などが向上し、本端末をより快適に安心してご利用いただけます。

■ 新機能追加

プリインストールされているアプリや端末機能を更新することで、機能・操作性が向上し、本端末をより快適にご利用いただけます。

■ 品質改善

プリインストールされているアプリや端末機能を更新することで、品質が向上し、本端末をより快適にご利用いただけます。

■ セキュリティパッチの更新

セキュリティパッチの更新を行うことで、脆弱性を対処するためのソフトウェアを適用することができます。適用することで本端末をより安心してご利用いただけます。

本端末に提供されている具体的なソフトウェアアップデートの内容および期間については、ドコモのホームページをご覧ください。

◇ ご利用条件

- 5G/Xiでのパケット通信をご利用の場合、モバイルネットワーク設定でアクセスポイントをspモードに設定してください。
- 5G/Xiでのパケット通信をご利用の場合、ダウンロードによる通信料金は発生しません。
- 国外でソフトウェアアップデートを行う場合は、ドコモ nanoUIMカードを挿入した状態でWi-Fi接続が必要です。
- ソフトウェアが改造されているときはアップデートができません。

◆ ソフトウェアアップデートを行う

❖ 更新の開始

更新を開始する方法としては以下のいずれかの操作を行います。


■ 更新をお知らせする通知から

本端末のステータスバーから通知を選択し、更新を開始します。

■ 定期的に表示される画面から

本端末が更新可能になると、確認画面が表示される場合があります。その確認画面にて動作を選択いただき、更新を進めてください。

■ 本体設定から

ホーム画面で  → [設定] → [システム] → [詳細設定] → [システム アップデート] をタップし、更新を開始します。

※ アップデートが不要な場合、「お使いのシステムは最新の状態です」と表示されます。

❖ 更新の流れ

更新は以下の流れで行われます。
詳細な操作手順は本端末の表示内容に従ってください。

1 更新ファイルのダウンロードおよびインストール

- 更新の種類によっては、更新ファイルのダウンロードとインストールが自動的に行われます。
- 更新ファイルのダウンロードとインストールの前に通知もしくは確認画面が表示される場合があります。いずれかが表示された場合は、表示されている手順に従いシステムアップデートを進めてください。

※ 通信料金が発生すると表示される場合がありますが、spモードに設定の場合、通信料金は発生しません。

2 再起動

更新の準備が整い次第、通知もしくは確認画面が表示されます。

[今すぐ再起動] を選択すると、すぐに本端末が再起動します。

3 更新完了の通知

- 更新が完了すると、本端末に完了画面が表示されません。
- 更新の種類が Android OS バージョンアップの場合は、更新完了後にお客様自身でインストールされたアプリのアップデートを確認してください。アップデートを行わないと動作が不安定になることや、機能が正常に動作しなくなることがあります。

❖ 注意事項

- ソフトウェアアップデート完了後は、以前のソフトウェアへ戻すことはできません。
- ソフトウェアアップデート中、本端末固有の情報（機種や製造番号など）が当社のサーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェアアップデート以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェアアップデート中は一時的に各種機能を利用できない場合があります。
- ソフトウェアアップデートを行うと、一部の設定が初期化されることがありますので、再度設定を行ってください。
- PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中で、PINコードを入力する画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ソフトウェアアップデートに失敗し、一切の操作ができなくなった場合には、お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口もしくはオンライン修理受付サービスまでご相談ください。
- ソフトウェアアップデートは、本端末に保存されたデータを残したまま行うことができますが、お客様の端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータは事前にバックアップを取っていただくことをおすすめします。各アプリの持つデータについて、バックアップ可能な範囲はアプリにより異なります。各アプリでのバックアップ方法は、各アプリの提供元にご確認ください。
- 以下の場合はソフトウェアアップデートができません。事象を解消後に再度お試しください。
 - 通話中
 - 日付・時刻を正しく設定していないとき
 - 必要な電池残量がないとき
 - 内部ストレージに必要な空き容量がないとき

- 国際ローミング中
- ソフトウェアアップデート中は電源を切らないでください。
- 更新ファイルのダウンロード中は電波状態の良い場所で、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、アップデートを中断することがあります。

保証とアフターサービス

❖ 保証について

- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- SIM取り出しツールは無料修理保証の対象外となります。
- SIM取り出しツールは、試供品となります。試供品のお問い合わせ先をご覧ください。
- 本端末の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いいたします。
- ※ 本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。
- ※ 本端末はドコモクラウドをご利用いただくことにより、電話帳などのデータをバックアップしていただくことができます。

■ 無料修理規定

- ① 保証期間内に取扱説明書などの注意に従った使用状態のもとで、故障が発生した場合は無料で修理いたします。(代替品と交換となる場合があります。)
- ② 保証期間内でも以下の場合は無料修理対象外となる場合がございます。
 1. 改造(ソフトウェアの改造も含む)による故障、損傷。
 2. 落下や、外部からの圧力などで本端末、ディスプレイおよび外部接続端子などが破損したことによる故障、損傷、または本端末内部の基板が破損、変形したことによる故障、損傷。
 3. 火災、公害、異常電圧、地震、雷、風水害その他天災地変などによる故障、損傷。
 4. 本端末に接続している当社指定以外の機器、消耗品による故障、損傷。
 5. 本端末内部への水の浸入による故障、損傷、本端末の水濡れシールが反応している場合、本端末に水没・水濡れなどの痕跡が発見された場合、または結露などによる腐食が発見された場合。
 6. ドコモ指定の故障取扱窓口以外で修理を行ったことがある場合。
- ③ 本保証は日本国内においてのみ有効です。
- ④ 本保証は明示した期間、条件においての無料修理をお約束するものでお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- ⑤ お預かり品に故障箇所が複数あった場合、一部分の修理だけでは製品の品質が保証できないため、全て修理してご返却いたします。その際は無料修理対象外となる場合がございます。
- ⑥ 修理実施の有無に関わらず、動作確認試験を実施したお預かり品は、最新のソフトウェアに更新してご返却する場合がございます。

- ⑦ 修理を実施した場合の修理箇所や修理実施日は、修理完了時にお渡しする修理結果票でご確認ください。

<販売元>

株式会社NTTドコモ
東京都千代田区永田町2-11-1

◆アフターサービスについて

■ 調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな?と思ったら」をご覧になってお調べください(→P170)。それでも調子がよくないときは、本書巻末の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」にご連絡の上、ご相談ください。

■ お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただけます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。

修理受付対応状況については、ドコモのホームページをご覧ください。

ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、詳細はドコモ指定の故障取扱窓口へお問い合わせください。

■ お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
 - 火災・けが・故障の原因となります。
 - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
- 以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
 - ディスプレイ部やキー部にシールなどを貼る
 - 接着剤などにより本端末に装飾を施す
 - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
- 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合は再度設定を実施いただくようお願いいたします。その際、設定によってはパケット通信料が発生する場合があります。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末にキャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。

- 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、お早めにドコモ指定の故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によっては修理できないことがあります。

お客様が作成されたデータおよびダウンロード情報などについて





本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。データの再ダウンロードにより発生するパケット通信料は、当社では補償いたしかねますのであらかじめご了承ください。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

あんしん遠隔サポート

お客様の端末上の画面をあんしん遠隔サポートセンターのオペレーターと共有することで、端末操作設定やアプリの使い方、パソコンなどの周辺機器との接続に関する操作サポートを受けることができます。

- ドコモnanoUIMカード未挿入時、国際ローミング中、機内モードなどではご利用できません。
- あんしん遠隔サポートはお申し込みが必要な有料サービスです。
- 一部サポート対象外の操作・設定があります。
- あんしん遠隔サポートの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

◆ オペレーターとの画面共有（電話でのお問い合わせ）

- 1 あんしん遠隔サポートセンターへ電話
ドコモの携帯電話からの場合：（局番なしの）15710（無料）
一般電話などからの場合： 0120-783-360
受付時間 午前9:00～午後8:00（年中無休）
 - 本端末からあんしん遠隔サポートセンターへ電話する場合は、ホーム画面で → [遠隔サポート] → [電話をかける] →  をタップします。
- 2 ホーム画面で → [遠隔サポート]
- 3 [接続画面に進む] → [同意する]
- 4 ドコモからご案内する接続番号を入力 → [開始]


5 接続後、遠隔サポートを開始


◆ Q&Aサイト／+メッセージ／LINEを利用


あんしん遠隔サポートご契約者様専用のQ&Aサイトのご利用や、+メッセージ、LINEでオペレーターにお問い合わせいただくこともできます。

- +メッセージ、LINEでのお問い合わせでは、画面共有はご利用いただけません。

❖ Q&Aサイトで調べる

- 1 ホーム画面で → [遠隔サポート]
 - 2 [Q&Aサイト／アプリで調べる]
- ❖ +メッセージでのお問い合わせ

- 1 ホーム画面で → [遠隔サポート]
 - 2 [+メッセージ]
- ❖ LINEでのお問い合わせ

- 1 ホーム画面で → [遠隔サポート]
- 2 [LINE]

主な仕様

ソフトウェアアップデートなどにより、変更が生じる場合があります。最新の情報は、ドコモのホームページをご覧ください。

■本体

品名	F-52A		
サイズ	高さ約●●mm×幅約●●mm×厚さ約●●mm (最厚部：約●●mm)		
質量	約●●g		
ディスプレイ	サイズ	約6.28インチ	
	種類	有機EL	
	解像度（ピクセル数 横×縦）	FHD+ (1080×2280)	
	発色数	16777216色	
内蔵メモリ	RAM：8GB ROM：128GB*1		
バッテリー容量	バッテリー容量	3600mAh	
	ワット時定格値	●●Wh	
連続待受時間 (静止時)*2、3	4G (LTE)	約●●時間	
連続通話時間 *3、4	4G (LTE)	LTE (VoLTE)	約●●分
		LTE (VoLTE (HD+))	約●●分

充電時間	ACアダプタ 07：約●●分	
無線LAN	対応規格	IEEE802.11a/b/g/n/ac準拠 (IEEE802.11n対応周波数帯：2.4GHz/5GHz)
	MIMO対応	○ (2×2MIMO)
	MU-MIMO (クライアント)対応	○
	MIMO対応規格	IEEE802.11n/ac
	MU-MIMO (クライアント)対応規格	IEEE802.11ac
Bluetooth機能	バージョン	5.1*5
	出力	Power Class 1
	対応プロファイル*6/コーデック	HFP (1.7)*7、HSP (1.2)、OPP (1.2)、SPP (1.2)、HID (1.0)、A2DP (1.3)*8、AVRCP (1.6)、PBAP (1.2)、PAN (1.0)*9、HOGP (1.0)

カメラ	撮像素子	種類	アウトカメラ：裏面照射型CMOS インカメラ：裏面照射型CMOS
		サイズ	アウトカメラ（広角レンズ）：1/2.0インチ アウトカメラ（超広角レンズ）：1/4.0インチ インカメラ：1/2.7インチ
	有効画素数		アウトカメラ（広角レンズ）：約●●万画素 アウトカメラ（超広角レンズ）：約●●万画素 インカメラ：約●●万画素
	記録画素数（最大時）		アウトカメラ（広角レンズ）：約●●万画素 アウトカメラ（超広角レンズ）：約●●万画素 インカメラ：約●●万画素
記録ファイル形式	動画		MP4
	静止画		JPEG

カメラ	動画1件あたりの最大動画撮影時間		約36分※10 ファイルサイズ制限あり（約4GB）
	ズーム（デジタル）	静止画	アウトカメラ：最大約8.0倍 インカメラ：－
		動画	アウトカメラ：最大約8.0倍 インカメラ：－
動画再生		コーデック	H.263、H.264、H.265、MPEG-2、MPEG-4、VP8、VP9
音楽再生		コーデック	AAC、HE-AAC v1、HE-AAC v2、AAC ELD、xHE-AAC、AMR-NB、AMR-WB、FLAC、MP3、MIDI、Vorbis、PCM、Opus、AIFF
マルチリンガル機能	表示言語		日本語／英語
	入力言語		日本語／英語
伝言メモ		保存可能件数	最大10件
		1件あたりの最大録音時間	最大1分

※1 メモリ容量は、撮影した動画や静止画、ダウンロードしたアプリやデータなどの保存にすべての容量を使用することはできません。
使用可能な空き容量については、「ストレージ」をご覧ください。→P138

携帯電話機の比吸収率 (SAR)

- ※2 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。設定状況、使用環境や通話・メール・カメラなどのご利用頻度により、大きく変動します。
- ※3 各種機能のご利用頻度が多い場合、実際の時間は半分以上になることがあります。
- ※4 連続通話時間は、設定状況、使用環境や通話・メール・カメラなどのご利用頻度により、大きく変動します。
- ※5 本端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認し、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なる場合や接続してもデータのやりとりができない場合があります。
- ※6 Bluetooth対応機器同士の使用目的に応じた仕様で、Bluetoothの標準規格です。
- ※7 mSBC (16kHz) およびCVSDに対応しています。
- ※8 音声コーデックAAC、aptX、aptX HD、aptX Adaptive、LDAC™、SBCに対応しています。
- ※9 PAN-NAP、PANUに対応しています。
- ※10 撮影サイズがFull HD (1920×1080) の場合の撮影時間です。

■SIM取り出しツール

サイズ	約●●mm
質量	約●●g

この機種F-52Aの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準^{※1}ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関 (WHO) と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会 (ICNIRP) が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率 (SAR: Specific Absorption Rate) で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.116W/kg^{※2}、身体に装着した場合のSARの最大値は0.432W/kg^{※3}です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属 (部分) が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

<https://www.who.int/peh-emf/publications/factsheets/en/>

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ

<https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>
ドコモのホームページ

<https://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/>
富士通のホームページ

<https://www.fmworld.net/product/phone/sar/>

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

※2 5G/LTEと同時に使用可能な無線機能を含みます。

※3 5G/LTEと同時に使用可能な無線機能を含みます。

Specific Absorption Rate(SAR) of Mobile Phones

This model F-52A mobile phone complies with the Japanese technical regulations and the international guidelines regarding human exposure to radio waves.

This mobile phone was designed in observance of the Japanese technical regulations regarding exposure to radio waves*¹ and the limits of exposure recommended in the international guidelines, which are equivalent to each other. The international guidelines were set out by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is in collaboration with the World Health Organization (WHO), and the permissible limits include substantial safety margins designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health conditions.

The technical regulations and the international guidelines set out the limits of exposure to radio waves as the Specific Absorption Rate, or SAR, which is the value of absorbed energy in any 10 grams of human tissue over a 6-minute period. The SAR limit for mobile phones is 2.0 W/kg.

The highest SAR value for this mobile phone when tested for use near the head is 0.116 W/kg², and that when worn on the body is 0.432 W/kg³. There may be slight differences of the SAR values in individual product, but they all satisfy the limit. The actual value of SAR of this mobile phone while operating can be well below the indicated above. This is due to automatic changes in the power level of the device to ensure it only uses the minimum power required to access the network.

This mobile phone can be used in positions other than against your head. By using accessories such as a belt clip holster that maintains a 1.5cm separation with no metal (parts) between it and the body, this mobile phone is certified the compliance with the Japanese technical regulations and the international guidelines.

The World Health Organization has stated that "a large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use."

Please refer to the WHO website if you would like more detailed information.

<https://www.who.int/peh-emf/publications/factsheets/en/>

Please refer to the websites listed below if you would like more detailed information regarding SAR.
Ministry of Internal Affairs and Communications Website:

<https://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/index.htm>
Association of Radio Industries and Businesses Website:
<https://www.arib-emf.org/O1denpa/denpaO2-O2.html> (in Japanese only)
NTT DOCOMO, INC. Website:
<https://www.nttdocomo.co.jp/english/product/sar/>
FUJITSU LIMITED Website:
<https://www.fmworld.net/product/phone/sar/> (in Japanese only)

- *1 The technical regulations are provided in Article 14-2 of Radio Equipment Regulations, a Ministerial Ordinance of the Radio Act.
- *2 Including other radio systems that can be simultaneously used with 5G/LTE.
- *3 Including other radio systems that can be simultaneously used with 5G/LTE.

◆ Declaration of Conformity

Trade Mark: Fujitsu
Model Name: F-52A
Hereby, Fujitsu Connected Technologies Ltd. declares that the RE product of "F-52A" is in compliance with RED 2014/53/EU.
The full text of the EU DoC is available at the following internet address:
<https://www.fmworld.net/product/phone/doc/>

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves. Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR^{*1} limits^{*2} for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR^{*1} value, when tested for compliance against the standard was 0.09 W/kg^{*3} for HEAD and 1.36 W/kg^{*3} for BODY. While there may be differences between the SAR^{*1} levels of various phones and at various positions, they all meet^{*4} the EU requirements for RF exposure.

- *1 The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.
*2 The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

- *3 Including other radio systems that can be simultaneously used with cellular radio wave.
*4 Tests for SAR have been conducted using standard operation positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

Radio type/ Description		Transmitter Frequency	Maximum Output Power
GSM	GSM900	880-915MHz	31.5dBm
	DCS1800	1710- 1785MHz	30.5dBm
UMTS	FDD 1	1920- 1980MHz	24.0dBm
LTE	FDD 1	1920- 1980MHz	23.0dBm
	FDD 3	1710- 1785MHz	23.5dBm

Radio type/ Description		Transmitter Frequency	Maximum Output Power
WLAN 2.4GHz	IEEE 802.11b	2400- 2483.5MHz	13.0dBm
	IEEE 802.11g	2400- 2483.5MHz	14.0dBm
	IEEE 802.11n	2400- 2483.5MHz	14.0dBm
WLAN 5GHz	IEEE 802.11a	5150- 5350MHz	14.0dBm
		5470- 5725MHz	14.0dBm
	IEEE 802.11n	5150- 5350MHz	14.0dBm
		5470- 5725MHz	14.0dBm
	IEEE 802.11ac	5150- 5350MHz	13.0dBm
		5470- 5725MHz	13.0dBm
Bluetooth	Bluetooth	2400- 2483.5MHz	11.0dBm
RFID	NFC	13.56MHz	-19dB μ A/m at 10m

The manufacturer of this product is Fujitsu Connected Technologies Ltd. with its registered place of business at 7-10-1 Chuurinkan, Yamato-shi, Kanagawa 242-0007, Japan.

◆ Federal Communications Commission (FCC) Notice

- This device complies with part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions :
 - this device may not cause harmful interference, and
 - this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications made in or to the radio phone, not expressly approved by the manufacturer, will void the user's authority to operate the equipment.
- The device complies with 15.205 of the FCC Rules.

◆ FCC RF Exposure Information

This model phone meets the U.S. Government's requirements for exposure to radio waves. This model phone contains a radio transmitter and receiver. This model phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy as set by the FCC of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. Tests for SAR are conducted using standard operating positions as accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the power output level of the phone.

Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to prove to the FCC that it does not exceed the limit

established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC, when tested for use at the ear, is 0.22 W/kg*, and when worn on the body, is 0.92 W/kg*. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements). While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirements. The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Equipment Authorization Search section at <https://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/> (please search on FCC ID 2AQYEFMP180).

For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 1.0 cm from the body.

- In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the general public is 1.6 Watts/kg (W/kg), averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

- * Including other radio systems that can be simultaneously used with cellular radio wave. This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:
- Reorient or relocate the receiving antenna.
 - Increase the separation between the equipment and receiver.
 - Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
 - Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

◆ Important Safety Information

AIRCRAFT

Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers flight mode or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

DRIVING

Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

HOSPITALS

Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

PETROL STATIONS

Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

INTERFERENCE

Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers

Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15 cm be maintained between a mobile phone and a pace maker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and does not carry it in a breast pocket.

Hearing Aids

Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

For other Medical Devices :

Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

Warning

This device have been tested to comply with the Sound Pressure Level requirement laid down in the applicable EN 50332-1 and/or EN 50332-2 standards. Permanent hearing loss may occur if earphones or headphones are used at high volume for prolonged periods of time.

<Prevention of Hearing Loss>



High sound pressure

Warning: In order to prevent possible hearing damage, do not listen to high volume levels for long periods.

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品及び付属品を輸出又は再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省又は米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権

◆ 著作権・肖像権

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などはできません。

実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。

また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

◆ 商標

- 「FOMA」「おまかせロック」「WORLD CALL」「WORLD WING」「おサイフケータイ」「iD」「公共モード」「エアメール」「マチキャラ」「spモード」「Xi」「Xi/クロッシィ」「dメニュー」「dマーケット」「eトリセツ」「イマドコサーチ」「イマドコかんたんサーチ」「あんしん遠隔サポート」「my daiz」「dフォト」「d払い」「dカード」「dポイント」「はなして翻訳」「マイマガジン」「LIVE UX」「オフィスリンク」および「おサイフケータイ」ロゴ「iD」ロゴ「エアメール」ロゴ「dmenu」ロゴ「dマーケット」ロゴ「あんしん遠隔サポート」ロゴ「dフォト」ロゴ「d払い」ロゴ「dカー

d」ロゴ「dポイント」ロゴ「はなして翻訳」ロゴ「ドコモメール」ロゴ「ドコモデータコピー」ロゴ「ドコモ留守電」ロゴ「ドコモ電話帳」ロゴ「データ保管BOX」ロゴ「スケジュール」ロゴ「メモ」ロゴ「マイマガジン」ロゴは（株）NTTドコモの商標または登録商標です。

- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- 「Disney DX」アプリには、ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社やその親会社、ならびにこれらの関連会社（総称して「ディズニー」）の著作権やその他の知的財産権が含まれます。利用条件は利用規約（ディズニー）をご覧ください。
- 「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、その他権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
- ㊦はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- FacebookおよびFacebookロゴは、Facebook, INC.の商標または登録商標です。
- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Google、Android、Google Play、Gmail、YouTube、およびその他のマークは、Google LLCの商標です。
- Bluetooth® とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、富士通コネクテッドテクノロジーズ株式会社はライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。



- Qualcomm aptX audio is a product of Qualcomm Technologies International, Ltd. Qualcomm is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States, and other countries, used with permission. aptX is a trademark of Qualcomm Technologies International, Ltd., registered in the United States and other countries, used with permission.
- LDACおよびLDACロゴはソニー株式会社の登録商標です。
- 「UD新丸ゴ」は、株式会社モリサワより提供を受けており、フォントデータの著作権は同社に帰属します。「UD新丸ゴ」は、同社の登録商標または商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi Alliance、WMM、Wi-Fi CERTIFIED、Wi-Fi CERTIFIEDロゴ、WPA、WPA2、WPA3、Wi-Fi Enhanced Open、Wi-Fi Direct、MiracastはWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- 「Vidhance® and Vidhance® Live Auto Zoom™」はIMINT Image Intelligence AB社の商標です。
- Adobe、Adobe Photoshop Express、およびAdobe Photoshop Expressロゴはそれぞれ、アメリカ合衆国およびその他の国々におけるAdobe（アドビ）社の登録商標または商標です。
- Dolby、ドルビー、Dolby Atmos、およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの登録商標です。ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。非公開機密著作物。著作権 2012-2020 年 ドルビーラボラトリーズ。不許複製。
- その他、本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。




- その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

◆ その他

- 本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品の一部分に、ArcSoft, Inc.が開発したモジュールが含まれています。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために (i) AVC規格準拠のビデオ（以下「AVCビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または (ii) AVCビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限り）を復号するライセンスが許諾されています。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。<https://www.mpegla.com> をご参照ください。

◆ オープンソースソフトウェア

- 本製品には、Apache License V2.0に基づきライセンスされるソフトウェアに富士通コネクテッドテクノロジー株式会社が必要な改変を施して使用していません。
- 本製品には、GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL)、その他のライセンスに基づくオープンソースソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、ホーム画面で  → [設定] → [デバイス情報] → [法的情報] をご参照ください。オープンソースライセンスに基づき富士通コネクテッドテクノロジー株式会社が公開するソフトウェアのソースコードは、下記サイトで公開しています。詳細は下記サイトをご参照ください。
<http://spf.fmworlworld.net/fujitsu/c/develop/sp/android/>



SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- ご利用になれるサービス、機能などが制限される場合があります。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除の手続きの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

- 1 他社のSIMカードを取り付ける
- 2 本端末の電源を入れる
- 3 SIMロック解除コードを入力
- 4 [ロック解除]

✓お知らせ-----

- SIMロックの解除状態については、ホーム画面で  →  → [*] [#] [*] [#] [4] [6] [6] [9] [#] [*] [#] [*] をタップするとご確認いただけます。表示の意味は次のとおりです。
SIMロック状態：SIMロック
SIMロック解除状態：SIMロック解除
-：状態不明

索引

索引

ア行

アイコン	55	アフターサービス	178
ステータスアイコン	56	アプリ	132
ステータスバー	56	キャッシュを削除	132
通知アイコン	56	検索	73
ナビゲーションバー	55	削除 (アンインストール)	109, 132
バックアイコン	55	ストレージを消去	132
ホームアイコン	55	電池の最適化	132
履歴アイコン	55	無効化	132
アウトカメラ (広角レンズ)	33	アプリと通知	131
アウトカメラ (超広角レンズ)	33	アプリの権限	49
アウトカメラ (ToF)	33	アプリのデータ使用量	126
アカウント	145	アラーム	118
削除	145	アラーム音	136
自動で同期	145	洗いかた	29
自分の電話番号	145	暗号化	143
手動で同期	145	暗証番号	44
設定	145	あんしん遠隔サポート	181
追加	145	イジェクトホール	34
同期の中止	145	位置情報	
明るさの自動調節	134	設定	116
アクセスポイント	126	位置情報・GPS	115
確認	127	インカメラ	33
初期化	127	印刷	160
追加	127	英語ガイド	82
		英語表示	150
		エラーメッセージ	175
		エリアメール	93
		後で確認	93
		エリアメールの許可	94
		音量	94
		再通知	94
		削除	93
		受信	93
		受信画面および着信音確認	94

設定	94	パソコンとの接続	160
バイブレーション	94	DisplayPort接続でテレビに表示	161
翻訳・アプリ連携設定	94	Wi-Fi接続でWi-Fi Miracast対応機器に表示	162
やさしい日本語表示	94		
履歴	94	外部ストレージ	37, 154
遠隔操作設定	82, 169	拡大鏡	59
オープンソースソフトウェア	194	仮想プライベートネットワーク	130
おサイフケータイ	110	壁紙	134
ご利用にあたって	110	カメラ	98
ロック設定	112	インカメラ/アウトカメラの切り替え	100, 102
おサイフケータイ対応サービス	110	撮影時の注意事項	98
おすすめアプリ	73	撮影設定	103
おすすめ機能	6	撮影モード	103
音	136	静止画撮影	100
音声検索	120	動画撮影	101
設定	151	ポートレート撮影	100
音声入力	50	マニュアル撮影	101
音量	136	ワイプ撮影	102
音量キー	34	AIスローモーション撮影	103
		ARサイズチェッカー	106
		Live Auto Zoom撮影	102
		QRコード読み取り	106
		画面消灯	135
		画面の明るさ	135
		画面の自動回転	134, 146
		画面表示の拡大	62
		画面ロック	
		暗証番号	45
		解除	42
		解除方法の設定	139
		かける	42, 140
		パスワード	45
		パターン	45
海外設定	168		
ネットワークサービス (海外)	168		
海外利用	164		
海外でご利用になる前に	164		
海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける	167		
帰国後の確認	169		
設定	165		
滞在先で電話を受ける	168		
滞在先で電話をかける	167		
通信サービス	164		
外部機器接続	160		
デフォルト印刷サービスでプリンタを接続	160		

カ行

画面ロック音	136
カラー	134
キーボード	49
外付けキーボード	54
手書き入力	50
テンキーキーボード	49
QWERTYキーボード	50
機内モード	129
キャッチホン	82
キャプメモ	60
緊急時情報	153
緊急速報「エリアメール」	93
近接センサー	33
クイック返信	78, 83
ゲームゾーン	147
言語と入力	150
検索	119
音声検索	120
Google 検索	119
公共モード（電源OFF）設定	83
高度なサイレントモード	133, 136
国際電話発信	76
国際電話（WORLD CALL）	78
国際ローミング（WORLD WING）	164
設定	168
ネットワークサービス	168

サ行

材質	16
時刻	152
自動入力サービス	150
自分からだ設定	145
自分の電話番号	153
指紋センサー	33

指紋認証	140
登録	142
認証操作	142
充電	39
充電用アダプタ	40
注意事項	39
パソコン	41
ACアダプタ	40
充電時の音とバイブレーション	136
受話口／スピーカー	33
仕様	182
照度センサー	33
商標	192
初期化	153
初期設定	43
診断データ送信	153
信頼エージェント	139
スグアップ	63
スグ電	63
スクリーンショット	48
スクリーンセーバー	135
スケジュール	117
登録	117
表示	117
ステータスアイコン	56
ステータスバー	56
ステレオイヤホン端子	34
ストップウォッチ	119
ストレージ	138, 154
スピーカー	34
スペルチェック	150
スライド	48
スライドイン機能	60, 148
スライドインランチャー	60

スライドスポット	60	知的財産権	192
スリープモード	42	着信音	136
スロットキャップ	34	着信音ミュート用のショートカット	136
スワイフ	48	着信拒否	78
静止画撮影画面	99	着信拒否設定	83
静止画表示	107	着信通知	82
世界時計	118	着信のバイブレーション強度	136
セカンドマイク	34	着信バイブレーション	136
セキュリティ	139	通信事業者	166
セキュリティ解除方法	139	通知	133
暗証番号	45, 139	通知アイコン	56
指紋認証	140	通知音	136
スワイフ	139	通知時のバイブレーション強度	136
パスワード	45, 139	通知パネル	57
パターン	45, 139	通話アカウント	83
接続の設定	131	ディスプレイ	33
設定メニュー	122	縦／横画面表示の自動切り替え	48
送話口	34	データセーバー	128
ソフトウェアアップデート	176	データローミング	165

タ行

ダークテーマ	134	手書き入力	50
タイマー	118	テキスト編集	54
ダイヤルパッドの操作音	136	テキスト読み上げの設定	146, 150
タスク管理	61	テザリング	128
タッチ操作音	136	Bluetoothテザリング	129
タッチパネル	33	USBテザリング	129
注意事項	47	Wi-Fiテザリング	128
使いかた	47	デバイス管理アプリ	139
タップ	47	デバイス情報	153
タップ&ペイ	111	規制ラベル	153
タップ操作時のバイブ	136	緊急時情報	153
ダブルタップ	47	デバイス名	153
単語リスト	150	電話番号	153
		法的情報	153
		SIMのステータス	153

デバイスを探す	139	電話帳リスト	83
テンキーキーボード	49, 51	登録	84
ケータイ入力	52	プロフィールの編集	86
ジェスチャー入力	52	編集	84
フリック入力	51	メニュー操作	84
2タッチ入力	52	ラベル (グループ) の設定	85
電源キー	34	動画再生	107
電源を入れる	41	動画撮影画面	99
電源を切る	41	動作	151
伝言メモ	82	カメラの起動	151
設定	82	画面端のタッチ感度	151
リスト	82	ジェスチャー ナビゲーション	151
録音	78	着信音を停止	151
転送でんわサービス	82	時計	118
電卓	119	アラーム	118
電池	133	ストップウォッチ	119
充電	39	世界時計	118
寿命	40	タイマー	118
電話	76	ドコモデータコピー	120
受ける	76	データ移行	120
かける	78	バックアップ・復元	121
緊急通報	77	ドコモのサービス/クラウド	144
スグ電設定	63	オープンソースライセンス	145
待機を追加	76	おすすめアプリ	144
通話音量	80	おすすめ使い方ヒント	144
通話設定	82	会員情報/プロフィール情報設定	145
発信者番号通知	76, 82	端末アプリ情報送信	144
保留	80	ドコモアプリ管理	144
2秒間の停止を追加	76	ドコモアプリデータバックアップ	144
電話帳	83	ドコモ位置情報	144
インポート	86	ドコモクラウド	144
エクスポート	86	ドコモサービス初期設定	145
お気に入り登録	84	dアカウント設定	144
検索	84	USBデバッグ切替	145

ドコモメール	87
ドコモnanoUIMカード	35
暗証番号	37, 45
取り付け	36
取り外し	37
ドラッグ	48
トラブルシューティング	170

ナ行

内部ストレージ	154
なぞってコピー	61
ナビゲーションバー	55
入力方法の切り替え	52
認証情報	143
ネットワーク暗証番号	45
ネットワークサービス	82, 168
ネットワークを選択	126

ハ行

パーソナルノート	143
バックアップ	
ドコモデータコピー	120
Google ドライブ	152
発信者番号通知	76, 82
発信履歴	81
バッテリーセーバー	134
パネルスイッチ	58
パン	48
番号通知お願いサービス	82
日付	152
日付と時刻	152
言語／地域のデフォルトを使用する	152
時刻	152

タイムゾーン	152
タイムゾーンを自動設定	152
ネットワークの時刻を使用する	152
日付	152
24時間表示	152
表示サイズ	134
表示の設定	134
ピンチ	48
ファイル操作	155
フォト	107
静止画表示／動画再生	107
フォント	134
フォントサイズ	134
ブックマーク	96
削除	96
登録	96
編集	96
プッシュ信号	80
物理キーボード	54, 150
プライバシー	138
プライベートDNS	130
フラッシュ	33
プリンアプリ一覧	69
フリック	48
ブルーライトカットモード	134
ブロック中の電話番号	83
分割画面	62
ポインタの速度	150
防水／防塵、耐衝撃性能	24
ホームアプリの情報	75
ホーム画面	
アプリアイコンなどの移動	67
アプリアイコンを追加	67
アプリアイコンをホーム画面から削除	67

アプリのアンインストール	68
ウィジェットなどの削除	68
管理	67
設定	68
フォルダ名の変更	68
見かた	66
ホーム画面切替	66
保証	178
歩数計	148
本体メモリ	154

マ行

マイク	34
マイマガジン	74
マップ	116
マナーモード	137
サイレントマナー	137
通常マナー	137
水抜き	31
迷惑電話ストップサービス	82
メール	87, 92
文字入力	49
音声入力	50
キーボード	49
設定	52
テキスト編集	54
持ってる間ON	147
モバイルデータ	126
モバイル ネットワーク	126
データの警告と制限	127

ヤ行

ユーザー補助	146
--------	-----

アニメーションの削除	146
色反転	146
色補正	146
大きなマウスポインタ	146
オーディオバランス	146
おすすめ使い方ヒント	146
音量キーのショートカット	146
拡大	146
画面の自動回転	146
高コントラストテキスト	146
字幕の設定	146
操作までの時間 (ユーザー補助タイムアウト)	146
ダークテーマ	146
停止時間	146
テキスト読み上げの設定	146
電源ボタンで通話を終了	146
長押しする時間	146
バイブレーションと触覚フィードバックの強さ	146
表示サイズ	146
フォントサイズ	146
モノラル音声	146
優先ネットワークの種類	166
輸出管理規制	191

ラ行

ライト	33, 59
ララしあコネクト	112
リセット オプション	152
アプリの設定をリセット	152
すべてのデータを消去 (出荷時リセット)	153
Wi-Fi、モバイル、Bluetoothをリセット	152
利用アプリの固定	144

留守番電話サービス	82	Digital Wellbeing と保護者による使用制限	149
ロック画面	42	DisplayPort	161
表示	135	docomo LIVE UX	66
ロック画面の表示	134	Dolby Atmos	136
ロングタッチ	47	FAQ	170
英数字・記号			
APN	126	FAST Appドライブ	147
arrowsオススメ機能	147	FAST ARサイズチェッカー	106
Bluetoothアンテナ部	33	FASTシェア	114
Bluetooth通信	156	FASTショッピング	61
機能ON/OFF	157	FASTフィンガーランチャー	142
接続	157	FASTメモ	147
接続解除	158	Gmail	92
データ送受信	157	表示	92
名前を変更	158	Google	149
ペア設定	157	Google アカウント	43
ペアリング解除	158	Google 検索	119
Bluetoothテザリング	129	Google マップ	116
Chrome	95	Google Play	108
新しいタブを開く	95	Google Play プロテクト	139
印刷	97	HDMI	161
画像をダウンロード	96	iDアプリ	112
画面操作	95	Live Auto Zoom	102
シークレットタブ	95	microSDカード	37, 154
設定	97	データ消去	138
なぞってコピー	97	取り付け	38
表示	95	取り外し	39
ブックマーク	96	パソコンから操作	160
履歴	96	フォーマット	138
リンク操作	96	Miracast	162
dアカウント	44	my daiz NOW	74
dマーケット	108	NFC通信	159
dメニュー	108	NFC/おサイフケータイ ロック	112
		PINコード	45
		設定	46

入力.....	46	Wi-Fi.....	123
変更.....	46	削除.....	124
PINロック解除コード (PUK).....	45	接続.....	123
PINロックの解除.....	46	設定.....	124
Play ストア.....	108	追加.....	124
アプリのインストール.....	109	データ使用量.....	125
アプリの削除.....	109	Wi-Fiを自動的にONにする.....	125
QRコード読み取り.....	106	Wi-Fiテザリング.....	128
QWERTYキーボード.....	50	Wi-Fi Direct.....	125
radiko+FM.....	112	Wi-Fi/GPS/5G/LTEアンテナ部.....	33
SAR.....	184	WORLD CALL.....	78
SIMカードロック.....	46	WORLD WING.....	164
SIMロック解除.....	194	4G 回線による通話.....	126
SIPアカウント.....	83	5G/LTEアンテナ部.....	33
Smart Lock.....	142	+メッセージ.....	87
Super ATOK ULTIASの設定.....	52	スレッド削除.....	91
オープンソースライセンス.....	53	設定.....	92
共通設定.....	53	送信.....	89
初期化.....	53	転送.....	91
操作音・バイブ.....	53	メッセージ削除.....	91
手書き入力.....	53	読む.....	91
デザイン.....	53		
テンキー.....	53		
変換候補一覧の表示.....	53		
ユーティリティ.....	53		
QWERTYキーボード.....	53		
Super ATOK ULTIAS.....	53		
ULTIASオススメ機能.....	53		
USBテザリング.....	129		
USB Type-C接続端子.....	34		
VPN.....	130		
接続.....	130		
切断.....	130		
追加.....	130		

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合

自動車などを運転中の使用にはご注意ください。法令で定める場合を除き、運転中に本端末の画面を注視したり、手で持って通話することは、罰則の対象となります。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

- レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。
- 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

- カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

歩きながらのスマートフォンの使用はやめましょう

- スマートフォンや携帯電話の画面を見ながらの歩行は大変危険です。視野が極端に狭くなり、自分自身だけでなく、周囲の方も巻き込む事故につながることもあります。
- スマートフォンを使用する際は、安全な場所で立ち止まって使用するようになしてください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

●公共モード（電源OFF）→P83

電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

●バイブレーション→P136

電話がかかってきたことを振動でお知らせします。

●マナーモード→P137

着信音や操作音など本端末から鳴る音を消します（ただし、シャッター音は消せません）。

そのほかにも、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどのオプションサービスが利用できます。→P82

オンラインでのご利用料金・ご利用データ量・ご契約内容の確認・各種お手続きなど

本端末から dメニュー → My docomo (お客様サポート)

パソコンから My docomo (<https://www.nttdocomo.co.jp/mydocomo/>)

- システムメンテナンスやご契約内容などにより、ご利用になれない場合があります。
- 「My docomo」のご利用には、「ネットワーク暗証番号」や「dアカウントのID/パスワード」が必要です。

海外からのお問い合わせ先 (紛失・盗難・つながらない場合など)

■ドコモの携帯電話からの場合

[+]を画面表示 **-81-3-6832-6600** (無料)

(「+」は「0」をロングタッチします。)

※「+」発信のかわりに国際電話アクセス番号でも発信できます。

■一般電話などからの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 -81-3-6832-6600 (有料)

※日本向け通話料がかかります。

※国際電話アクセス番号については、ドコモのホームページをご覧ください。

受付時間 24時間(年中無休)

- 番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
- 紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
- お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの) **151** (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

 **0120-800-000**

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 午前9：00～午後8：00 (年中無休)

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモのホームページにてお近くのドコモショップなどをご確認の上、お問い合わせください。

●オンライン修理受付サービスについては、ドコモのホームページをご覧ください。

ドコモのホームページ <https://www.nttdocomo.co.jp/>

故障お問い合わせ・修理お申込み先

■ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの) **113** (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

 **0120-800-000**

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 24時間 (年中無休)

試供品のお問い合わせ先

試供品の不明点については下記のところまでお問い合わせください。

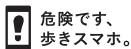
富士通コネクテッドテクノロジーズ  **0120-466-652**

携帯電話用試供品お問い合わせ窓口 ※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

受付時間 9：00～17：00 (土・日・祝日・所定の休日を除く)

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●試供品については、本書内でご確認ください。



危険です、
歩きスマホ。



キケン!
水ぬれ充電



あぶない!
電池への衝撃



Li-ion 00



リサイクルネットワーク
環境にやさしいリサイクル

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。
※回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

販売元 株式会社NTTドコモ

製造元 富士通コネクテッドテクノロジーズ株式会社

'20.11(1版)

CA92005-0572